

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-1	施策	絶滅が危惧される生物について生態調査等の情報収集を行い適切な保護を推進します。			
事業	茨城県版レッドデータブック等を参考に絶滅が危惧される生物の情報を収集し、本市の湿地などに生息する「コイヌガラシ」や「コツブヌマハリイ」など希少な植物の生態を調査するとともに、保全活動を推進する。					
現状と課題	現状では生体数が少なく生息域の特定や生体確認など情報収集が困難な状況である。今後においては、関係機関と協力し課題解決に向けた生態調査などに取り組み、希少生物の保全活動などが実施できる体制の整備を図っていく。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集、生息域の調査</li> <li>環境保全活動の推進</li> </ul>				
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関から希少植物の保全活動を推進するための情報収集や調査を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関から希少植物の保全活動を推進するための情報収集や現地調査を行った。</li> </ul>			
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた				
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態調査など保全活動を推進するための情報収集を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態調査など保全活動を推進するための情報収集を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態調査など保全活動を推進するための情報収集を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キタミソウなど、希少植物の生息情報を収集し、生息状況の現地確認をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キタミソウなど、希少植物の生息情報を収集し、生息状況の現地確認を行い、昨年度に引き続き自生していることを確認した。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-2	施策	貴重な動植物が生育できる環境の保全に努めます。			
事業	自然環境と貴重な動植物の生育環境を保全する。					
現状と課題	市街化区域及びその周辺において都市化が進んでいるが、既存集落のある市街化調整区域やその周辺には、多くの自然が残っている。貴重な動植物が生育できる環境を保全し、自然と人とが共生できるよう環境の保全に努める。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・環境保全活動の推進	・環境保全活動の推進	・環境保全活動の推進	・環境保全活動の推進	・環境保全活動の推進
	年度実績	・環境保全活動の推進を行った。	・環境保全活動の推進を行った。	・環境保全活動の推進を行った。	・環境保全活動の推進を行った。	・環境保全活動の推進を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・環境保全活動の推進が図れた。	・牛久沼一斉清掃活動・市内一斉清掃活動を通じ、環境保全活動の推進が図れた。	・市内一斉清掃活動を通じ、環境保全活動の推進が図れた。	・新型コロナウイルスによる感染防止のため、例年環境保全活動をしている市内一斉清掃は中止となった。	・牛久沼一斉清掃活動・市内一斉清掃活動を通じて、環境保全活動の推進が図れた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-3	施策	外来種生物の実態と影響を調査し、種類、個体数の増加抑制を周知・啓発します。			
事業	外来生物及び生態系に影響を及ぼす可能性の高い特定外来生物の実態を把握し、個体数の増加抑制を周知・啓発する。 茨城県では駆除対象に定めている特定外来生物のアライグマの駆除を促進する。					
現状と課題	外来生物は、生態系や農林水産業に悪影響を及ぼす可能性があり個体数増加を抑制する対策が必要である。 特定外来生物であるアライグマを駆除を促進することにより、繁殖の抑制を図る。 外来生物の進入から生態系を守るためにも外来種を入れない、飼っている外来生物を捨てない、野外で繁殖している場合は上げない、の三原則を周知・啓発することにより外来生物の種類や個体数の増加抑制を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	駆除頭数20頭 (18頭)	駆除頭数20頭 (36頭)	駆除頭数20頭 (25頭)	駆除頭数20頭 (78頭)	駆除頭数20頭 (70頭)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来生物についての周知、啓発</li> <li>アライグマの駆除促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来生物についての周知、啓発</li> <li>アライグマの駆除促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来生物についての周知、啓発</li> <li>アライグマの駆除促進</li> <li>捕獲用檻の追加購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来生物についての周知、啓発</li> <li>アライグマの駆除促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来生物についての周知、啓発</li> <li>アライグマの駆除促進</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットによる周知、啓発を行った。</li> <li>アライグマ捕獲用の檻の貸し出しを行い駆除の促進を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットによる周知、啓発を行った。</li> <li>アライグマ捕獲用の檻の貸し出しを行い駆除の促進を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットによる周知、啓発を行った。</li> <li>アライグマ捕獲用の檻の貸し出しを行い駆除の促進を行った。</li> <li>アライグマ捕獲用の檻1基を追加購入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットによる周知、啓発を行った。</li> <li>アライグマ捕獲用の檻の貸し出しを行い駆除の促進を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットによる周知、啓発を行った。</li> <li>アライグマ捕獲用の檻の貸し出しを行い駆除の促進を行った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた
	効果	アライグマを捕獲し個体数の増加抑制を図った。	アライグマを捕獲し個体数の増加抑制を図った。	アライグマを捕獲し個体数の増加抑制を図った。	アライグマを捕獲し個体数の増加抑制を図った。	アライグマを捕獲し個体数の増加抑制を図った。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	建設課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-4	施策	河川や道路等の整備において、自然環境や生態系に配慮して事業を推進します。			
事業	道路整備事業において、自然環境や生態系に配慮した事業を推進する。					
現状と課題	道路整備事業で地盤改良工事を行う際には国が定める環境基準を遵守し自然環境に配慮した施工を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・環境省で定められた試験方法で実施	・工事において排出ガス対策型の建設機械を使用する。	・工事において排出ガス対策型の建設機械を使用する。	・工事において排出ガス対策型の建設機械を使用する。	・工事において排出ガス対策型の建設機械を使用する。
	年度実績	・六価クロム溶出試験を実施	・11件の工事で排出ガス対策型の建設機械を使用した。	・10件の工事で排出ガス対策型の建設機械を使用した。	・14件の工事で排出ガス対策型の建設機械を使用した。	・14件の工事で排出ガス対策型の建設機械を使用した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・国が定める環境基準内で地盤改良工事を実施することができた。	・大気環境に与える負荷の低減に寄与できた。	・大気環境に与える負荷の低減に寄与できた。	・大気環境に与える負荷の低減に寄与できた。	・大気環境に与える負荷の低減に寄与できた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	里山を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-5	施策	荒廃した平地林や里山林の間伐、下刈り、植林等の森林整備を支援します。(身近なみどり促進事業)			
事業	森林湖沼税を活用した「身近なみどり整備推進事業」により、荒廃した平地林や里山林の整備を支援する。					
現状と課題	市と森林所有者等において、10年間の森林の転用禁止などを定めた森林保全管理協定の締結が条件となり、申請者が少ないため広報紙等で制度の周知を行うことにより、事業件数を増加させ荒廃した森林所有者を支援する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	事業件数1件 (0件)	事業件数1件 (1件)	事業件数 1件 (0件)	事業件数 1件 (0件)	事業件数 1件 (0件)
	行動計画	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。
	年度実績	・制度周知を行ったことにより、平成30年度に事業を要望する組織があったため、支援を行った。	杉下地区にて通学路上の森林整備を実施。	・広報紙により補助事業の周知を行い、問合せはあったものの、実際に事業を要望する者はなかった。	・広報紙により補助事業の周知を行い、問合せはあったものの、要件が10年間山林のまま管理が必要ため、申請のハードルが高く、実際に事業を要望する者はなかった。	・周知は行ったが、事業を要望する者はなかった。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
効果	・新規に取り組む組織を把握し補助事業を推進することで支援できた。	・通学路上の森林整備を行うことで、小中学生及び歩行者の安全の確保を行うことができた。	・広報紙の周知効果はあったものの、事業実現にいたらなかったため、継続周知を図る。	・広報紙の周知効果はあったものの、事業実現にいたらなかったため、継続周知を図る。	要望がなかった。また、R3年度で本事業は終了となった。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	里山を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-6	施策	農業体験や里山の保全などの都市農村交流活動を行っているNPO法人の活動を支援します。 (都市農村交流活動支援事業)			
事業	NPO法人が実施する都市農村交流活動や、里山の再生と環境保全活動を支援する。					
現状と課題	現在もNPO法人が行う都市農村交流活動の支援を行っている。 都市農村交流事業への参加者を増やすためにも、継続的に事業活動が行えるよう支援する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	交流事業参加者数260人(169人)	交流事業参加者数270人(233人)	交流事業参加者数280人(271人)	交流事業参加者数280人(66人)	交流事業参加者数280人(85人)
	行動計画	・都市農村交流事業委託による活動支援	・都市農村交流事業委託による活動支援	・田んぼアート補助金の交付 ・SNSを活用した活動周知	・委託による都市農村交流事業の実施	・委託による都市農村交流事業の実施
	年度実績	・田んぼアート稲刈、収穫祭の活動支援 ・夏休み体験ツアーなどの活動支援	・田んぼアート稲刈、収穫祭の活動支援 ・夏休み体験ツアーなどの活動支援	・田んぼアートを含めた都市農村交流事業を実施した。(市内NPO法人に委託)	・新型コロナウイルスの影響によりイベント中止を受け、会員による田植えと少人数の参加者による稲刈りを実施(市内NPO法人に委託)	田んぼアートの田植えはコロナの影響により少人数の参加者となったが、稲刈り、どんど焼きについては参加者が前年度より増加した。(市内NPO法人に委託)
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・参加者数が目標に達成せず、その点では効果が薄かったが、県外からの参加者も多かった。今後はPR活動など参加者が増加するよう支援を行う。	・参加者数が目標に達成しなかったが、昨年に比べると参加者が増加した。県外からの参加者も多かった。	・参加者数が目標に達成しなかったが、昨年に比べると参加者が増加した。県外からの参加者も多かった。	・新型コロナウイルスの影響による事業の一部中止のため実績が目標に達していないが次年度以降は積極的なPR活動によりこれまで以上の参加を促したい。	・新型コロナウイルスの影響による参加者は目標に達成しなかったが、前年度より参加者も増加しており徐々に回復傾向である。次年度以降はコロナ対策を徹底したうえでこれまで以上の参加を促したい。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	里山を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-7	施策	間伐材の有効利用として、チップ化や落ち葉を利用した堆肥作り等を推進します。			
事業	間伐材のチップ化や堆肥作りについて調査研究し施策の検討を行う。					
現状と課題	間伐材の有効利用に関する取り組みを行っていないため、他の自治体や事業者等の取り組みを参考に調査、研究を行う。枝葉を利用した堆肥には放射性物質が多く含まれている可能性があるため、有効利用を図るうえで課題となる。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・間伐材の有効利用に関する調査研究	・間伐材の有効利用に関する調査研究	・間伐材の有効利用に関する調査研究	・間伐材の有効利用に関する調査研究	・施策の検討
	年度実績	・間伐材の有効利用による堆肥づくりを推進するための調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用による堆肥づくりを推進するための調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用による堆肥づくりを推進するための調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用による堆肥づくりを推進するため、段ボールコンポストなどの調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用に関するパンフレットを窓口で配布した。また、公園から出る間伐材の有効利用について、高砂熱学と協議した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・堆肥づくりを推進する施策の検討に向けた調査研究ができた。	・堆肥づくりを推進する施策の検討に向けた調査研究ができた。	・堆肥づくりを推進する施策の検討に向けた調査研究ができた。	・今後間伐材が発生することを予想し、堆肥づくりの一つの手段として調査研究ができた。	・間伐材利用促進に関する啓発を行い、市民への意識向上を図ることができた。高砂熱学と間伐材についての利用方法の協議により間伐材についての知識を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	農業委員会事務局	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-8	施策	農地の利用状況を調査し、遊休農地の解消と新規発生の抑制を図ります。（遊休農地対策事業）			
事業	農業委員と農地利用最適化推進委員の連携による農地の利用状況調査、農地パトロール及び農地適正管理指導の実施徹底により、遊休農地の解消と新規発生の抑制を図る。					
現状と課題	農業者の高齢化や後継者不足等により、毎年新たな遊休農地が発生しており、農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地所有者への適正管理指導が重要となっている。また、遊休農地を初期段階に発見し、未然に防止する対策が必要となっている。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	耕作放棄地（遊休農地） 面積108ha (134ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積100ha (128ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積92ha (124ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積84ha (125ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積76ha (116ha)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導及び個別訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導及び個別訪問</li> <li>農地の集積・集約化による発生防止</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>苦情等があった遊休農地に対して適正管理の指導通知を発送及び訪問や電話による指導を行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>苦情等があった遊休農地に対して適正管理の指導通知の発送及び訪問や電話による指導を行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>苦情等があった遊休農地に対して適正管理の指導通知の発送及び訪問による指導を行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>耕作放棄地は令和元年度と比較し、新規に2.7ha増加したが、既存の2.4haは減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の発生抑制と解消を図った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知により、新規遊休農地の発生を抑制した。また、一部の遊休農地が解消した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知や訪問により、新規遊休農地の発生を抑制した。また、一部の遊休農地が解消した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知や訪問により、新規遊休農地の発生を抑制した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知や訪問により、解消した遊休農地があった。しかし、新規発生や一度解消したが再発生した遊休農地の方が多かったため、遊休農地の面積が増えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地は令和2年度に比べ、137筆、12.64ha解消し、21筆、3.9ha発生した。（8.78ha減少）</li> <li>遊休農地を耕作可能な状態に改善することにより、作物の生産以外にも、保水機能による水害発生の抑制、害虫害獣の発生抑制、さらに集落の良好な景観を保全した。</li> </ul>	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-9	施策	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援します。（多面的機能支払交付金事業）			
事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進する。					
現状と課題	現在の実施組織数は17組織あり、活動組織は増加傾向にある。事業の制度を周知し実施組織を増やすことで各地域における共同活動を支援する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	実施組織数17組織 (17組織)	実施組織数17組織 (17組織)	実施組織数17組織 (19組織)	実施組織数18組織 (22組織)	実施組織数18組織 (22組織)
	行動計画	・広報紙等による制度周知 ・地域活動の支援	・広報紙等による制度周知 ・地域活動の支援	・広報紙等による制度周知 ・地域活動の支援	・広報紙等による制度周知 ・地域活動の支援	・広報紙等による制度周知 ・地域活動の支援
	年度実績	・広報紙等による制度周知を実施した。 ・平成31年度に事業を要望する1組織に対し、支援を行った。	・広報紙により優良取組組織の紹介を行うとともに制度周知を実施。また、新規取組希望地区に対し説明会を実施した。	・広報紙により制度周知を継続実施。また、新規取組希望地区に対し説明会を実施した。	・広報紙により制度周知を継続実施。また、新規取組希望地区に対し組織立ち上げの支援をした。	・広報紙により制度周知を継続実施。また、新規取組希望地区に対し組織立ち上げの支援をした。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
効果	・制度周知を行い活動組織の増加を目指した。 ・活動組織に対して継続的な支援を図った。	・新規取組希望地区に対し説明会を実施し、組織立ち上げに向けた支援を行った。また、既活動組織に対し活動に対する指導・助言を行い適切な活動の実施を促すことができた。	・新規取組希望地区に対し説明会を実施し、組織立ち上げに向けた支援を行った。また、既活動組織に対し活動に対する指導・助言を行い適切な活動の実施を促すことができた。	・新規取組希望地区に対し組織立ち上げに向けた支援を行った。また、既活動組織に対し活動に対する指導・助言を行い適切な活動の実施を促すことができた。	・新規取組希望の2地区に対し組織立ち上げに向けた支援を行った。また、既活動組織に対し活動に対する指導・助言を行い適切な活動の実施を促すことができた。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-10	施策	新規の営農希望者や農業後継者の確保と育成を図ります。			
事業	新規の営農希望者や農業後継者に対し、積極的に営農に関する情報提供を行うとともに、営農計画等の助言や国等の補助金の活用を推進することで、安定的な農業収入が見込めるよう支援する。					
現状と課題	担い手の高齢化や後継者不足等により離農者が増加傾向であり、それに伴う遊休地又は耕作放棄地の解消が課題となっている。設備投資や農地集積など営農計画の助言等を行い安定的な農業収入を見込めるよう支援する体制を整備する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助制度の情報提供</li> <li>営農計画への助言</li> <li>農地中間管理機構の周知</li> </ul>				
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会や研修会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会や研修会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会や研修会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた				
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供や周知を行うことで、農業経営の支援を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会を通じて情報提供や周知を行うことで、農業経営の支援を行うことができた。</li> </ul>			

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-11	施策	畑・水田オーナー制度の導入により耕作放棄地の解消を図る仕組みを検討します。			
事業	耕作放棄地を解消するため畑・水田オーナー制度の導入を検討する。					
現状と課題	耕作放棄地解消の仕組みを検討していないため、先進的に取り組んでいる自治体等を参考に畑・水田オーナー制度など耕作放棄地を解消する仕組みについて調査研究し導入を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度等の制度把握及び耕作放棄地解消に伴う補助事業を把握し、仕組みを検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度については荒廃農地解消を希望する農業者に対し荒廃農地等利活用促進交付金の交付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者に対し耕作放棄地の解消に活用可能な補助事業等の情報提供を行い、活用を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度の導入はしなかったが、農業者に対し耕作放棄地の解消に活用可能な補助事業等の情報提供を行い、活用を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度の導入はしなかったが、農業者に対し耕作放棄地の解消に活用可能な補助事業等の情報提供を行い、活用を促した。</li> </ul>
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消のための仕組みを検討し、2経営体により補助事業を活用し耕作放棄地解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消及び解消後の営農定着支援を各1経営体活用し、放棄地の解消を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城かんしょトップランナー産地拡大事業を活用して、1経営体が耕作放棄地の解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城かんしょトップランナー産地拡大事業を活用して、1経営体が耕作放棄地の解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城かんしょトップランナー産地拡大事業補助事業と農地耕作条件改善事業の補助を活用し2経営体が耕作放棄地の解消を行った。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-12	施策	市民に農業が親しめるよう、遊休農地を活用した市民農園等の利用を推進します。（市民農園管理事業）			
事業	市民が野菜や花等の栽培を通して自然と触れ合い、農業に対する理解が深まるよう市民農園を開設するとともに利用を推進します。					
現状と課題	市民農園の利用希望者が多く区画利用率が高いため、区画に空きができるまで待っている者もいる状態であり、市民農園の拡大を検討する。 市民農園の適正な運営体制を構築するため、需要に応じた規模の確保が課題となっている。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	市民農園利用率98% (100%)	市民農園利用率98% (99%)	市民農園利用率98% (94%)	市民農園利用率98% (100%)	市民農園利用率98% (100%)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要に応じた開設</li> <li>空き区画を活用した農業体験の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による利用の推進を行った。</li> <li>利用待機者を減らすため、平成30年度から利用できる区画を8区画増やした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用申請の受付を行い、適宜広報紙等により周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用申請の受付を行い、適宜広報紙等により周知を行った。</li> <li>次年度の農業体験実施に向け、空き区画のうち3区画を農業体験用区画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用申請の受付を行い、適宜広報紙等により周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要増加により新たに土地を借り入れ28区画増設した。</li> </ul>
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による利用の推進を行うとともに、区画数を増やしたことにより市民農園の規模を拡大した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画を増設したことで、利用希望者が全て農園を利用することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙に利用者の募集を掲載し、利用を推進した</li> <li>利用状況を勘案し、新たな区画は開設せず、空き区画を活用した事業の準備を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き情報を周知することにより、利用率の向上を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画を増設したことで、より多くの市民が農園を利用することができた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-13	施策	生産者、消費者、事業者に地産地消を市のホームページや広報でPRします。			
事業	地元の農産物を地元で消費する活動を把握しPRする。 具体的には、学校給食での地元野菜の使用推奨や茨城をたべよう運動の推進、地元農産物の地元購入促進を図る。					
現状と課題	現状は、学校給食での利用を推進しているが、地産地消に特化した広報紙やホームページは行っておらず、地元農産物が購入できる場所も把握しきれていないため、販売する店舗の調査を行い広報紙等で周知する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食での利用推進</li> <li>情報収集</li> <li>地産地消に関するホームページの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の利用促進</li> <li>情報収集</li> <li>地元農産物の販売促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の利用促進</li> <li>情報収集</li> <li>地元農産物の販売促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の利用促進</li> <li>情報収集</li> <li>地元農産物の販売促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の利用促進</li> <li>情報収集</li> <li>地元農産物の販売促進</li> <li>買えるお店マップ等を作成</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元農産物を購入できる直売所の情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月より月1回「あさのいち」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさのいち実行委員会が主催する朝市「あさのいち」の実施を支援した</li> <li>市内直売所の情報収集を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさのいち実行委員会が主催する朝市「あさのいち」の実施を支援した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさのいち実行委員会が主催する朝市「あさのいち」の実施を支援した</li> <li>筑波大と共同研究を行い地産地消の推進のための検討を行った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食での利用を図った。</li> <li>地元農産物を購入できる店舗のデータベース等作成を検討するための準備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食センターへ地元農産物生産者の情報提供を行った。</li> <li>あさのいち実施に向けて支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回（3月は新型コロナウイルスの影響で中止）のあさのいち実施を支援し、地産地消を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で9月、10月、11月、3月の計4回に縮小したが、あさのいち実施を支援し、地産地消を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回のあさのいち実施の支援を行い、地元の農産物をPRしたことにより、地産地消を推進した。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-14	施策	エコファーマー認証や、環境保全型農業を推進します。			
事業	化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。					
現状と課題	現状は市内で2団体が環境保全型農業を実施している。支援の対象となる要件が厳しいため新規で補助を受けられる団体が少ない。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・広報紙等による制度周知による事業の推進	・広報紙等による制度周知による事業の推進	・広報紙等による制度周知による事業の推進	・広報紙等による制度周知による事業の推進	・広報紙等による制度周知による事業の推進
	年度実績	・広報紙等による制度周知を行うとともに、平成30年度に事業を開始する組織に対し、支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・制度に該当する可能性のある農業者又は団体を把握し支援することで営農活動を推進した。	・制度改正に伴い、活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。	・制度改正に伴い、活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。	・制度改正に伴い、活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。	・活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	緑の創出や緑化を推進します。					
施策番号	1-2-1	施策	くつろぎや憩いの場、環境の保全や景観の向上など緑豊かな自然とふれあえる生活空間を形成する都市公園の整備を促進します。（都市公園整備及び管理事業）			
事業	市民が緑とふれあい、くつろぎや憩いの場となる都市公園を維持管理するとともに、整備を促進します。					
現状と課題	現在、市内の20箇所において20haの都市公園が整備されており、施設の老朽化や樹木の育成による維持管理費用の増加に課題があるが、適正な維持管理を行っている。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	都市公園整備面積20ha (20ha)	都市公園整備面積20ha (20ha)	都市公園整備面積20ha (20ha)	都市公園整備面積20ha (20ha)	都市公園整備面積20ha (20ha)
	行動計画	・都市公園の維持管理	・都市公園の維持管理	・都市公園の維持管理	・都市公園の維持管理	・都市公園の維持管理
	年度実績	・地域住民要望や自治会等の意見をヒアリングすると共に、現地の状況に応じて委託業者と調整を図り適正な時期に除草や剪定を実施した。	・地域住民要望や自治会等の意見をヒアリングすると共に、現地の状況に応じて委託業者と調整を図り適正な時期に除草や剪定を実施した。	・地域住民要望や自治会等の意見をヒアリングすると共に、現地の状況に応じて委託業者と調整を図り適正な時期に除草や剪定を実施した。	・地域住民要望や自治会等の意見をヒアリングすると共に、現地の状況に応じて委託業者と調整を図り適正な時期に除草や剪定を実施した。	・地域住民要望や自治会等の意見をヒアリングすると共に、現地の状況に応じて委託業者と調整を図り適正な時期に除草や剪定を実施した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・都市公園の利用者に安らぎや憩いの場として快適な空間の提供を行った。	・都市公園の利用者に安らぎや憩いの場として快適な空間の提供を行った。	・都市公園の利用者に安らぎや憩いの場として快適な空間の提供を行った。	・都市公園の利用者に安らぎや憩いの場として快適な空間の提供を行った。	・都市公園の利用者に安らぎや憩いの場として快適な空間の提供を行った。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	緑の創出や緑化を推進します。					
施策番号	1-2-2	施策	農村公園の適切な維持管理に努めます。			
事業	農業集落の憩いの場を提供する農村公園の適切な維持管理に努める。					
現状と課題	農村公園は、幅広い世代のコミュニケーションの場として重要な役割を担っている。子供たちの健康・心身発達の面からも、お年寄りの健康増進の面からも、安心して使える遊具などの施設を適正に維持管理する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・遊具の点検・修理 ・雑草処理等の維持管理	・遊具の点検・修理 ・雑草処理等の維持管理	・遊具の点検・修理 ・雑草処理等の維持管理	・遊具の点検・修理 ・雑草処理等の維持管理	・遊具の点検・修理 ・雑草処理等の維持管理
	年度実績	・遊具点検を1回、除草作業を5回実施し公園の維持管理を行った。	・遊具点検を1回、除草作業を5回実施し公園の維持管理を行った。	・委託のほか直営でも遊具点検と除草作業を実施し、公園の維持管理を行った。	・委託のほか直営でも遊具点検と除草作業を実施し、公園の維持管理を行った。	・委託のほか直営でも遊具点検と除草作業を実施し、公園の維持管理を行った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境整備に努めた。	・適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境を整備した。	・適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境を整備した。	・適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境を整備した。	・適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境を整備した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	教育指導課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	緑の創出や緑化を推進します。					
施策番号	1-2-3	施策	子供たちが緑と親しみ、愛し、守り育てる活動を推進します。			
事業	学校林や身近な森林において、児童・生徒や地域の森林ボランティア団体等が一体となって森林活動などに取組む「森林環境教育促進事業」や、学校敷地での緑化活動を行う「学校環境緑化モデル事業」を実施します。					
現状と課題	現在、学校には学校林など植栽しているが、年々枯れ始めてしまい倒木の危険性から伐採されている学校林が多数ある。また、身近な森林においても、開発などによって森林が伐採され減少しているのが現状である。今後においては、それらの課題解決に向けた調査・協議に取り組み、緑化活動を推進します。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校林の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>候補地の選定・協議</li> <li>学校との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施校以外の学校において活動が可能かボランティア団体との協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施校以外の学校において活動が可能か協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校林の維持管理</li> <li>小張小学校において「学校環境緑化モデル事業」の実施を計画</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度においては、倒木の危険性のある樹木の伐採などを行い、学校林の維持管理に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と森林ボランティア団体とで調整し、校外学習を通して森林環境教育を取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と森林ボランティア団体とで調整し、校外学習を通して森林環境教育を取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスのため、校外学習を通じた森林環境教育を行うことが出来なかった。</li> <li>今年度においては、倒木の危険性のある樹木の伐採などを行い、学校林の維持管理に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小張小学校において「学校環境緑化モデル事業」を実施。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木の病気を早期発見し、倒木の危険性を未然に防ぐことで学校林を守ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物や環境保全に関する大切さを授業を通して学ぶことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな学校では実施できなかったが、植物や環境保全に関する大切さを授業を通して学ぶことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木の病気を早期発見し、倒木の危険性を未然に防ぐことで学校林を守ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物や環境保全に関する大切さを事業を通して学ぶことができた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	樹林地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-4	施策	荒廃した平地林や里山林の間伐、下刈り、植林等の森林整備を支援します。(身近なみどり促進事業)			
事業	森林湖沼税を活用した「身近なみどり整備推進事業」により、荒廃した平地林や里山林の整備を支援する。					
現状と課題	市と森林所有者等において、10年間の森林の転用禁止などを定めた森林保全管理協定の締結が条件となり、申請者が少ないため広報紙等で制度の周知を行うことにより、事業件数を増加させ荒廃した森林所有者を支援する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	事業件数 1件 (0件)	事業件数1件 (1件)	事業件数 1件 (0件)	事業件数 1件 (0件)	事業件数 1件 (0件)
	行動計画	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。	・広報紙等により制度を周知し補助事業により森林所有者を支援する。
	年度実績	・制度周知を行ったことにより、平成30年度に事業を要望する組織があったため、支援を行った。	・杉下地区にて通学路上の森林整備を実施。	・広報紙により補助事業の周知を行い、問合せはあったものの、実際に事業を要望する者はなかった。	・広報紙により補助事業の周知を行い、問合せはあったものの、要件が10年間山林のまま管理が必要のため、申請のハードルが高く、実際に事業を要望する者はなかった。	・周知は行ったが、事業を要望する者はなかった。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
効果	・新規に取り組む組織を把握し支援することができた。	・通学路上の森林整備を行うことで、小中学生及び歩行者の安全の確保を行うことができた。	・広報紙の周知効果はあったものの、事業実現にいたらなかったため、継続周知を図る。	・広報紙の周知効果はあったものの、事業実現にいたらなかったため、継続周知を図る。	要望がなかった。また、R3年度で本事業は終了となる。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-2-5	施策	間伐材の有効利用を推進します。			
事業	間伐材の有効利用を推進します。					
現状と課題	間伐材の有効な利用方法について、他の自治体や事業者等の取り組みを参考に調査、研究を行う。 間伐材のチップ化や落ち葉の堆肥化事業に取り組む団体や企業等の活動を推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・間伐材の有効利用に取り組む団体等の推進、施策検討に向けた調査研究	・間伐材の有効利用に取り組む団体等の推進、施策検討に向けた調査研究	・間伐材の有効利用に取り組む団体等の推進、施策検討に向けた調査研究	・間伐材の有効利用に取り組む団体等の推進、施策検討に向けた調査研究	・施策の検討
	年度実績	・間伐材の有効利用推進のため施策に関する調査研究を行った。	・間伐材の有効利用推進のため施策に関する調査研究を行った。	・間伐材の有効利用推進のため施策に関する調査研究を行った。	・間伐材の有効利用推進のため施策に関する調査研究を行い、段ボールコンポストについて調査。	・間伐材の有効利用に関するパンフレットを窓口で配布した。また、公園から出る間伐材の有効利用について、高砂熱学と協議した。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
効果	・施策の検討に向けた調査研究を行った。 ・間伐材の有効利用に取り組む団体等の活動推進には至らなかった。	・施策の検討に向けた調査研究を行ったが、有効な利用方法を見つけることが出来なかった。 ・間伐材の有効利用に取り組む団体等の活動推進には至らなかった。	・施策の検討に向けた調査研究を行ったが、有効な利用方法を見つけることが出来なかった。 ・間伐材の有効利用に取り組む団体等の活動推進には至らなかった。	・施策の検討に向けた調査研究を行い、段ボールコンポストについて有効な施策か調査を行った。 ・間伐材の有効利用に取り組む団体等の活動推進には至らなかった。	・間伐材利用促進に関する啓発を行い、市民への意識向上を図ることができた。 高砂熱学と間伐材についての利用方法の協議により間伐材についての知識を高めることができた。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	農業委員会事務局	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-6	施策	農地の利用状況を調査し、遊休農地の解消と新規発生の抑制を図ります。（遊休農地対策事業）			
事業	農業委員と農地利用最適化推進委員の連携による農地の利用状況調査、農地パトロール及び農地適正管理指導の実施徹底により、遊休農地の解消と新規発生の抑制を図る。					
現状と課題	農業者の高齢化や後継者不足等により、毎年新たな遊休農地が発生しており、農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地所有者への適正管理指導が重要となっている。また、遊休農地を初期段階に発見し、未然に防止する対策が必要となっている。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	耕作放棄地（遊休農地） 面積108ha (134ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積100ha (128ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積92ha (124ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積84ha (125ha)	耕作放棄地（遊休農地） 面積76ha (116ha)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導及び個別訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査</li> <li>農地パトロール</li> <li>農地適正管理指導及び個別訪問</li> <li>農地の集積・集約化による発生防止</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>苦情等があった遊休農地に対して適正管理の指導通知を発送した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>苦情等があった遊休農地に対して適正管理の指導通知の発送及び訪問や電話による指導を行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>苦情等があった遊休農地に対して適正管理の指導通知の発送及び訪問による指導を行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の新規発生抑制を行った。</li> <li>耕作放棄地は令和元年度と比較し、新規に2.7ha増加したが、既存の2.4haは減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況調査及び農地パトロールを行い遊休農地の発生抑制と解消を図った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知により、新規遊休農地の発生を抑制した。また、一部の遊休農地が解消した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知や訪問により、新規遊休農地の発生を抑制した。また、一部の遊休農地が解消した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知や訪問により、新規遊休農地の発生を抑制した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を把握し、農地の利用意向調査を行った。</li> <li>指導通知や訪問により、解消した遊休農地があった。しかし、新規発生や一度解消したが再発生した遊休農地の方が多かったため、遊休農地の面積が増えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地は令和2年度に比べ、137筆、12,64ha解消し、21筆、3.9ha発生した。（8.78ha減少）</li> <li>遊休農地を耕作可能な状態に改善することにより、作物の生産以外にも、保水機能による水害発生の抑制、害虫害獣の発生抑制、さらに集落の良好な景観を保全した。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-7	施策	新規の営農希望者や農業後継者の確保と育成に協力します。			
事業	新規の営農希望者や農業後継者に対し、積極的に営農に関する情報提供を行うとともに、営農計画等の助言や国等の補助金の活用を推進することで、安定的な農業収入が見込めるよう支援する。					
現状と課題	担い手の高齢化又は後継者不足等により離農者が増加傾向にある状況であり、それに伴う遊休地又は耕作放棄地の解消が課題となっている。設備投資や農地集積など営農計画の助言等を行い安定的な農業収入を見込めるよう支援する体制を整備する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助制度の情報提供</li> <li>営農計画への助言</li> <li>農地中間管理機構の周知</li> </ul>				
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会や研修会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会や研修会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会や研修会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会で情報提供、助言や農地中間管理機構の周知を行った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた				
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供や周知を行うことで、農業経営の支援を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会を通じて情報提供や周知を行うことで、農業経営の支援を行うことができた。</li> </ul>			

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-8	施策	畑・水田オーナー制度の導入により耕作放棄地の解消を図る仕組みを検討します。			
事業	耕作放棄地を解消するため畑・水田オーナー制度の導入を検討する。					
現状と課題	耕作放棄地解消の仕組みを検討していないため、先進的に取り組んでいる自治体等を参考に畑・水田オーナー制度など耕作放棄地を解消する仕組みについて調査研究し導入を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>制度内容の検討</li> <li>土地調査</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度等の制度把握及び耕作放棄地解消に伴う補助事業等の把握し、仕組みを検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>荒廃農地解消を希望する農業者に対し荒廃農地等利活用促進交付金の交付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者に対し耕作放棄地の解消に活用可能な補助事業等の情報提供を行い、活用を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度の導入はしなかったが、農業者に対し耕作放棄地の解消に活用可能な補助事業等の情報提供を行い、活用を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー制度の導入はしなかったが、農業者に対し耕作放棄地の解消に活用可能な補助事業等の情報提供を行い、活用を促した。</li> </ul>
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消のための仕組みを検討し、2経営体により補助事業を活用し耕作放棄地解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消及び解消後の営農定着支援を各1経営体活用し、放棄地の解消を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城かんしょトッパー産地拡大事業を活用して、1経営体が耕作放棄地の解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城かんしょトッパー産地拡大事業を活用して、1経営体が耕作放棄地の解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城かんしょトッパー産地拡大事業補助事業と農地耕作条件改善事業の補助を活用し2経営体が耕作放棄地の解消を行った。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-9	施策	市民に農業が親しめるよう、遊休農地を活用した市民農園等の利用を推進します。（市民農園管理事業）			
事業	市民が野菜や花等の栽培を通して自然と触れ合い、農業に対する理解が深まるよう市民農園を開設するとともに利用を推進します。					
現状と課題	市民農園の利用希望者が多く区画利用率が高いため、区画に空きができるまで待っている者もいる状態であり、市民農園の拡大を検討する。 市民農園の適正な運営体制を構築するため、需要に応じた規模の確保が課題となっている。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	市民農園利用率98% (100%)	市民農園利用率98% (99%)	市民農園利用率98% (94%)	市民農園利用率98% (100%)	市民農園利用率98% (100%)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要に応じた開設</li> <li>空き区画を活用した農業体験の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模拡大の検討</li> <li>需要に応じた開設</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による利用の推進を行った。</li> <li>利用待機者を減らすため、平成30年度から利用できる区画を8区画増やした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用申請の受付を行い、適宜広報紙等により周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用申請の受付を行い、適宜広報紙等により周知を行った。</li> <li>次年度の農業体験実施に向け、空き区画のうち3区画を農業体験用区画として準備を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用申請の受付を行い、適宜広報紙等により周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要増加により新たに土地を借り入れ28区画増設した。</li> </ul>
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による利用の推進を行うとともに、区画数を増やしたことにより市民農園の規模を拡大した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画を増設したことで、利用希望者が全て農園を利用することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙に利用者の募集を掲載し、利用を推進した。</li> <li>利用状況を勘案し、新たな区画は開設せず、空き区画を活用した事業の準備を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き情報を周知することにより、利用率の向上を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画を増設したことで、より多くの市民が農園を利用することができた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全					
施策番号	1-3-1	施策	水辺の整備において、生態系に配慮して事業を推進します。			
事業	生態系に配慮した水辺の整理事業を推進する。					
現状と課題	市が事業主体となる、水辺整備事業は終了している。 新たな水辺整備事業を行なう場合には、事業担当課と調整し、生態系に配慮した事業を行なうよう推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・生態系に配慮した水辺整備事業の推進	・生態系に配慮した水辺整備事業の推進	・生態系に配慮した水辺整備事業の推進	・生態系に配慮した水辺整備事業の推進	・生態系に配慮した水辺整備事業の推進
	年度実績	・新たな水辺整備事業はなかった。	・新たな水辺整備事業はなかった。	・新たな水辺整備事業はなかった。	・新たな水辺整備事業はなかった。	・新たな水辺整備事業はなかった。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・新規の工事がなかった。	・新規の工事がなかった。	・新規の工事がなかった。	・該当事業がなかった。	・該当事業がなかった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課 都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全を推進します。					
施策番号	1-3-2	施策	さるまい自然公園やため池等の身近に水辺とふれあえる場をビオトープとして管理をします。			
事業	さるまい自然公園をビオトープとしての活用を検討する。(生活環境課) 草刈りや清掃等維持管理を行い、公園を管理する。(都市計画課)					
現状と課題	ビオトープとして活用するには湧水の量が少なく池に水が確保できないなどの課題がある。 課題解決にむけ調査研究を進めるとともに、親水施設として活用できるよう施策を検討する。(生活環境課) 現状を維持し、公園として適正な管理を継続して行う。(都市計画課)					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・親水施設の調査研究 (生活環境課)	・親水施設の調査研究 (生活環境課)	・親水施設の調査研究 (生活環境課)	・施策の検討	・施策の検討
		・適正な管理(都市計画課)	・適正な管理(都市計画課)	・適正な管理(都市計画課)	・適正な管理(都市計画課)	・適正な管理(都市計画課)
	年度実績	・親水施設として活用するため施策の調査研究を行った。 ・除草の管理においては、ボランティア団体と連携をとり適正な時期の維持管理を行った。	・親水施設として活用するため施策の調査研究を行った。 ・除草の管理においては、ボランティア団体と連携をとり適正な時期の維持管理を行った。	・親水施設として活用するため施策の調査研究を行った。 ・除草の管理においては、ボランティア団体と連携をとり適正な時期の維持管理を行った。	・再整備の検討にあたり専門家による助言を受け、次年度貴重動植物調査の準備作業を行った。 ・除草の管理においては、ボランティア団体と連携をとり5、7、10月に除草作業を行った。	・茨城県自然博物館の協力を得て、さるまい自然公園の貴重動植物調査を行った。 ・調査実施後、除草作業を行い、生育環境の保全を行った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・施策の検討に向けた調査研究ができた。 ・適正な維持管理を行い、親水施設として活用する準備を行った。	・施策の検討に向けた調査研究ができた。 ・適正な維持管理を行い、親水施設として活用する準備を行った。	・施策の検討に向けた調査研究ができた。 ・適正な維持管理を行い、親水施設として活用する準備を行った。	・適正な維持管理を行い、親水施設として活用する準備を計画的に行った。	・調査の結果、絶滅危惧種を含めた多くの動植物の生息が確認された。 ・自然博物館から、適度な除草作業等を行うことで、動植物の良好な環境が期待できるとの助言をいただいた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全を推進します。					
施策番号	1-3-3	施策	福岡堰さくら公園等の身近な親水空間の適切な保全、整備・管理をします。			
事業	福岡堰さくら公園や隣接する親水施設の適切な維持管理を行なう。					
現状と課題	年間を通して除草などを行い施設を適切に維持管理している。 今後、施設の老朽化に伴う補修や改修の必要があるため、施設の点検等をしてしながら適切に維持管理を行っていく。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・適切な維持管理	・適切な維持管理	・適切な維持管理	・適切な維持管理	・適切な維持管理
	年度実績	・現地の状況を確認しながら委託業者と調整をとり適正な時期に除草や劣化施設の補修を実施した。	・現地の状況を確認しながら委託業者と調整をとり適正な時期に除草や劣化施設の補修を実施した。	・現地の状況を確認しながら委託業者と調整をとり適正な時期に除草や劣化施設の点検・補修を実施した。	・現地の状況を確認しながら委託業者と調整をとり適正な時期に除草や劣化施設の点検・補修を実施した。	・現地の状況を確認しながら委託業者と調整をとり適正な時期に除草や劣化施設の点検・補修を実施した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・施設利用者に安全で快適な空間の提供を行った。	・施設利用者に安全で快適な空間の提供を行った。	・施設利用者に安全で快適な空間の提供を行った。	・施設利用者に安全で快適な空間の提供を行った。	・施設利用者に安全で快適な空間の提供を行った。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全を推進します。					
施策番号	1-3-4	施策	定期的に河川やため池の水質調査を実施し、結果を公表します。（水質調査事業）			
事業	河川等の水を採取し水質検査を実施し、結果を公表する。					
現状と課題	水質検査は毎年度実施しているが、検査結果の公表は行っていない。 今後、市民の関心を高めるため、広報紙やホームページで結果を公表する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	水質環境基準達成率100% (95%)	水質環境基準達成率100% (80%)	水質環境基準達成率 100% (90%)	水質環境基準達成率 100% (70%)	水質環境基準達成率 100% (80%)
	行動計画	・水質調査の実施、公表	・水質調査の実施、公表	・水質調査の実施、公表	・水質調査の実施、公表	・水質調査の実施、公表
	年度実績	・市内21カ所の水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。	・市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。	・市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。	・市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。	・市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・調査地点に類似する環境基準と比較し、1カ所で基準を超える数値が検出された。 ・検査結果の公表により、市民の関心を高めた。	・調査地点に類似する環境基準と比較し、2回で基準を超える数値が検出された。 ・検査結果の公表により、市民の関心を高めた。	・調査地点に類似する環境基準と比較し、1回基準を超える数値が検出された。 ・検査結果の公表により、市民の関心を高めた。	・調査地点に類似する環境基準と比較し、3回基準を超える数値が検出された。 ・検査結果の公表により、市民の関心を高めた。	・調査地点に類似する環境基準と比較し、2回基準を超える数値が検出された。 ・検査結果の公表により、市民の関心を高めた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	上下水道課		
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	生活排水処理施設の整備を推進します。					
施策番号	1-3-5	施策	河川の水質汚濁の主たる原因である生活排水の処理施設整備を促進します。			
事業	周辺公共水域の水質汚濁防止を目的とした生活排水処理施設の整備を促進する。					
現状と課題	ベストプランに沿った市街化区域の整備は完了している。今後は農村集落の整備となるが住宅密集地でないため、整備費に対して整備率が伸びにくいが生生活排水処理率を向上させるため公共下水道の整備及び合併処理浄化槽の設置を促進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	生活排水処理率89.6% (89.9%)	生活排水処理率89.8% (90.3%)	生活排水処理率90.5% (90.5%)	生活排水処理率90.7% (90.7%)	生活排水処理率90.9% (90.9%)
	行動計画	・未整備地区の管渠整備 ・合併処理浄化槽の設置促進	・未整備地区の管渠整備 ・合併処理浄化槽の設置促進	・未整備地区の管渠整備 ・合併処理浄化槽の設置促進	・未整備地区の管渠整備 ・合併処理浄化槽の設置促進	・未整備地区の管渠整備 ・合併処理浄化槽の設置促進
	年度実績	・農村集落における公共下水道・農業集落排水の整備、合併処理浄化槽の設置を推進した。	・農村集落における公共下水道、合併処理浄化槽の設置を推進した。	・農村集落における公共下水道、合併処理浄化槽の設置を推進した。	・農村集落における公共下水道、合併処理浄化槽の設置を推進した。 ・合併処理浄化槽の設置基数は、29基であった。	・農村集落における公共下水道の接続、合併処理浄化槽の設置を推進した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・計画に沿って公共下水道・農業集落排水の整備、合併処理浄化槽の設置促進を行った結果、処理率が上昇した。	・計画に沿って公共下水道、合併処理浄化槽の設置促進を行った結果、処理率が上昇した。	・計画に沿って公共下水道、合併処理浄化槽の設置促進を行った結果、処理率が上昇した。	・計画に沿って公共下水道、合併処理浄化槽の設置促進を行った結果、処理率が上昇した。	・計画に沿って公共下水道、合併処理浄化槽の設置促進を行った結果、公共下水道整備については、4.79haを新たに整備し、合併処理浄化槽については、23基を新たに設置したことにより、生活排水処理率が向上した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	生活排水処理施設の整備を推進します。					
施策番号	1-3-6	施策	生活排水処理施設の処理区域内の接続を推進します。			
事業	生活排水処理区域内の接続を推進する。					
現状と課題	生活排水処理区域内であっても未接続の家があり接続の依頼を行っているが処理施設への接続には、排水設備改造費や受益者負担金・加入分担金等の自己負担が発生するため、各家庭に設置された汚水処理設備が故障するまで接続しないという状況を招いている。 今後も戸別訪問などにより接続を推進していく。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・供用開始時に説明及び供用開始3年経過を迎える未接続宅に戸別訪問による接続の推進	・供用開始時に説明及び供用開始3年経過を迎える未接続宅に戸別訪問による接続の推進	・供用開始時に説明及び供用開始3年経過を迎える未接続宅に戸別訪問による接続の推進	・供用開始時に説明及び供用開始3年経過を迎える未接続宅に戸別訪問による接続の推進	・供用開始時に説明及び供用開始3年経過を迎える未接続宅に戸別訪問による接続の推進
	年度実績	・供用開始時56件の説明、供用開始後3年経過の未接続宅10件の戸別訪問を実施した。	・供用開始時29件の説明、供用開始後3年経過の未接続宅33件の戸別訪問を実施した。	・供用開始時2件の説明、供用開始後3年経過の未接続宅48件の戸別訪問を実施した。	・公共下水道区域において供用開始時に12件への説明を行った。 ・公共下水道区域において供用開始時から3年以内に接続していない戸数22件及び農業集落排水区域の未接続戸数263件に早期接続依頼に関するDMを送付した。	・公共下水道区域において供用開始時に20件への説明を行った。 ・公共下水道区域において供用開始時から3年以内に接続していない戸数20件及び農業集落排水区域の未接続戸数249件に早期接続依頼に関する通知を送付した。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・供用開始後3年を経過する住宅が下水道等へ接続したのは5割弱であった。	・供用開始後3年を経過する住宅が下水道等へ接続したのは5割弱であった。	・供用開始後3年を経過する住宅が下水道等へ接続したのは4割弱であった。	・供用開始後3年を経過する住宅が下水道等へ接続したのは4割弱であった。	・早期接続依頼に関する通知を送付した件数のうち、12件が新たに下水道へ接続した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	上下水道課		
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	生活排水処理施設の整備を推進します。					
施策番号	1-3-7	施策	生活排水処理施設の処理区域外での合併処理浄化槽の設置を推進します。			
事業	周辺公共水域の水質汚濁防止を目的とした生活排水処理区域外の合併処理浄化槽設置を推進する。					
現状と課題	現有の設備から合併処理浄化槽への設置変更は、自己負担で行うため、現有設備が使用できなくなるまで設置しない状況を招いている。 合併処理浄化槽の設置に対し自己負担を軽減するため補助金を交付する制度を設けており、制度の周知により生活排水処理区域及び計画区域外での合併処理浄化槽の設置を推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・広報紙により生活排水処理区域及び計画区域外の合併処理浄化槽設置に対する補助制度の周知	・広報紙により生活排水処理区域及び計画区域外の合併処理浄化槽設置に対する補助制度の周知	・広報紙により生活排水処理区域及び計画区域外の合併処理浄化槽設置に対する補助制度の周知	・広報紙により生活排水処理区域及び計画区域外の合併処理浄化槽設置に対する補助制度の周知	・広報紙により生活排水処理区域及び計画区域外の合併処理浄化槽設置に対する補助制度の周知
	年度実績	・合併処理浄化槽の設置を推進するため、補助制度を広報紙により周知し、申請のあった18件の補助を実施した。	・合併処理浄化槽の設置を推進するため、補助制度を広報紙により周知し、申請のあった9件の補助を実施した。	・合併処理浄化槽の設置を推進するため、補助制度を広報紙により周知し、申請のあった14件の補助を実施した。	・合併処理浄化槽の設置を推進するため、補助制度を広報紙により周知し、申請のあった10件に補助を実施した。この内、単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換は8基であった。	・合併処理浄化槽の設置を推進するため、補助制度を広報紙により周知した。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
効果	・補助制度の周知を図ることにより、合併処理浄化槽の設置を促した。	・補助制度の周知を図り合併処理浄化槽設置を促したが、申請は予定数に達しなかった。	・補助制度の周知を図り合併処理浄化槽設置を促したが、申請は予定数に達しなかった。	・補助制度の周知を図り合併処理浄化槽設置を促したが、申請は予定数に達しなかった。	・申請のあった7件に補助を行い、新たに合併浄化槽の設置を行った。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-1	施策	「一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、3R（Reduce：リデュース：減量化；Reuse：リユース：再利用；Recycle：リサイクル：再資源化）の推進と啓発活動を行います。			
事業	一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化及び再資源化を推進する。					
現状と課題	ごみの分別方法や排出のマナーについて徹底が不十分であり、ごみを排出する段階で適正な分別が行われていない事例が発生している。 3Rの普及促進のため、ホームページへの掲載や一般廃棄物処理基本計画の概要版を全戸配布するなど3Rの推進を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・ホームページや計画の概要版作製による3Rの啓発と推進活動	・広報紙やホームページによる3Rの啓発と推進活動	・広報紙やホームページによる3Rの啓発と推進活動	・広報紙やホームページによる3Rの啓発と推進活動	・広報紙やホームページによる3Rの啓発と推進活動
	年度実績	・毎月広報紙で啓発した計画の概要版を全戸配布し啓発した。	・毎月広報紙で啓発した。	・毎月広報紙で啓発した。	・毎月広報紙で啓発した。	・広報紙でごみの適正な分別やリサイクルに関する記事を掲載し、啓発を図った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・啓発、再資源化等の推進を行い、さらなる個々のマナー向上を図った。	・啓発、再資源化等の推進を行い、さらなる個々のマナー向上を図った。	・啓発、再資源化等の推進を行い、さらなる個々のマナー向上を図った。	・啓発、再資源化等の推進を行い、さらなる個々のマナー向上を図った。	・啓発、再資源化等の推進を行い、市民一人ひとりのマナー向上を図った。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-2	施策	ごみ処理に関する諸情報（一人一日あたり排出量、資源化率）を公表し、市民の意識向上を図ります。			
事業	ごみの排出量や資源化実績などを公表する。					
現状と課題	ごみ排出量の削減、再資源化を図るためには、市民一人ひとりがごみを適正に分別し、マナーを守ってごみを排出することが重要であるが、未分別でごみを排出する事例が発生している。 ごみの排出量や資源化の実績を公表することで、市民の意識向上を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの収集</li> <li>広報紙やホームページ等への掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの収集</li> <li>広報紙やホームページ等への掲載</li> </ul>			
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの排出量等や資源化に関する実績を収集し公表し啓発記事を掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの排出量等や資源化に関する実績を収集し公表し啓発記事を掲載した。</li> </ul>			
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの排出量に関する記事を公表することにより市民の意識向上を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の分別に関する意識の向上を図ることができた。</li> </ul>			

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-3	施策	市が率先してグリーン購入につとめ、普及啓発を図ります。			
事業	環境にやさしい「エコマーク」や「グリーンマーク」等の制度周知を図るとともに、エコ商品を率先して購入するよう啓発に努める。					
現状と課題	環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）を率先して調達する必要があるが、調達が進んでいない。循環型社会を形成するためにも市で率先的に環境物品等を調達するために庁内において普及啓発に努める。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度の周知</li> <li>エコ商品の購入に向けた調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度の周知</li> <li>エコ商品購入に向けた再調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度の周知</li> <li>エコ商品購入に向けた再調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度の周知</li> <li>エコ商品購入に向けた再調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度の周知</li> <li>エコ商品購入に向けた再調整</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度周知のためのチラシを設置した。</li> <li>庁内でエコ商品購入に向けた調整を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度周知のためのチラシを設置した。</li> <li>庁内でエコ商品購入に向けた調整を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度周知のためのチラシを設置した。</li> <li>庁内でエコ商品購入に向けた調整を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度周知のためのチラシを設置した。</li> <li>庁内でエコ商品購入に向けた調整を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度周知のためのチラシを設置した。</li> <li>コピー用紙について導入した。</li> </ul>
	自己評価	5 計画にはまったく及ばなかった	5 計画にはまったく及ばなかった	5 計画にはまったく及ばなかった	5 計画にはまったく及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ商品の購入に向けた調整を行ったが、率先的な調達はできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ商品の購入に向けた調整を行ったが、率先的な調達はできなかった。</li> <li>窓口にチラシを設置し、周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ商品の購入に向けた調整を行ったが、率先的な調達はできなかった。</li> <li>窓口にチラシを設置し、周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ商品の購入に向けた調整を行ったが、率先的な調達はできなかった。</li> <li>窓口にチラシを設置し、周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンマークが付いた再生紙を購入できた。</li> <li>チラシにより市民への意識向上を図れた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-4	施策	ごみ一人一日当たりの排出量を平成27年度実績値より21g削減します。(ごみ減量化事業)			
事業	ごみの分別徹底を市民や事業者へ啓発し、ごみの排出抑制・再資源化を推進することでごみの減量化を図る。					
現状と課題	ごみの排出量を削減するためには、市民や事業者が一般廃棄物処理基本計画に定めたごみの排出やリサイクルについての自己意識を高め、排出されるごみを可能な限り再資源化し、資源の有効利用、環境負荷の低減を図りながら適正処理・処分を行うことで、平成27年度の実績値一人一日当たり712gから平成38年度までに21gのごみ排出量を削減する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	ごみ排出量708g/人・日 (725g/人・日)	ごみ排出量707g/人・日 (717g/人・日)	ごみ排出量704g/人・日 (727g/人・日)	ごみ排出量704g/人・日 (739g/人・日)	ごみ排出量701g/人・日 (723g/人・日)
	行動計画	・分別徹底の指導 ・適切な排出方法を啓発ごみの減量化を図る。	・分別徹底の指導 ・適切な排出方法を啓発ごみの減量化を図る。	・分別徹底の指導 ・適切な排出方法を啓発ごみの減量化を図る。	・分別徹底の指導 ・適切な排出方法を広報紙やホームページで啓発し、ごみの減量化を図る。	・分別徹底の指導 ・適切な排出方法を広報紙やホームページで啓発し、ごみの減量化を図る。
	年度実績	・適正な排出方法の啓発や分別方法の指導を行った。	・適正な排出方法の啓発や分別方法の指導を行った。	・適正な排出方法の啓発や分別方法の指導を行った。	・適正な排出方法の啓発や分別方法の指導を行った。	・適正な排出方法の啓発や分別方法の指導を行った。
	自己評価	5 計画にはまったく及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・ごみの分別指導や減量化に向けた啓発を行ったが排出量は増加し、計画に及ばなかった。	・ごみの分別指導や減量化に向けた啓発を行い、排出量は昨年より減少したが、計画に及ばなかった。	・ごみの分別指導や減量化に向けた啓発を行ったが、排出量は昨年より増加し、計画に及ばなかった。	・新型コロナウイルスの影響による外出の自粛、それに伴う外食の減少によりごみの排出量が増加した。	・市民への啓発により排出実績は例年なみに減少したが目標値には至らなかった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-5	施策	生ごみのたい肥化事業の推進を図ります。			
事業	常総地方広域市町村圏事務組合常総環境センターと連携し、受け入れ世帯や回収地区の拡大を目指した取り組みに努める。					
現状と課題	生ごみのたい肥化事業へ取り組むよう周知・啓発を行っているので、事業に参加する世帯や地区が増加している。たい肥化事業を推進していくためには常総環境センターと協力し、たい肥化事業として排出する生ごみの受け入れ量を増やすことが課題となる。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	参加戸数1,250戸 (1,512戸)	参加戸数1,300戸 (1,529戸)	参加戸数1,350戸 (1,592戸)	参加戸数1,400戸 (1,637戸)	参加戸数1,450戸 (1,666戸)
	行動計画	・広報紙等での周知啓発により事業への参加を推進する。	・広報紙等での周知啓発により事業への参加を推進する。	・広報紙等での周知啓発により事業への参加を推進する。	・広報紙等での周知啓発により事業への参加を推進する。	・広報紙等での周知啓発により事業への参加を推進する。
	年度実績	・広報紙8月号、3月号で堆肥化事業の周知、啓発を行い事業への参加を推進した。	・広報紙8月号で堆肥化事業の周知、啓発を行い事業への参加を推進した。	・広報紙6月号、11月号で堆肥化事業の周知、啓発を行い事業への参加を推進した。	・広報紙9月号で堆肥化事業の周知、啓発を行い事業への参加を推進した。	・広報紙で堆肥化事業の周知、啓発を行い事業への参加を推進した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた
効果	・参加世帯が増加し、可燃ごみの排出量が減少した。	・参加世帯が増加し、生ごみ排出量も増加したが、可燃ごみの排出量も増加した。	・参加世帯が増加し、生ごみ排出量も増加したが、可燃ごみの排出量も増加した。	・参加世帯が増加し、たい肥化するための生ごみ排出量も増加した。	・昨年度から29世帯が増加し、加入世帯は1,666戸になった。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-6	施策	家庭ごみの排出量を削減するためにごみの分別の徹底や適切な排出方法の啓発を行います。			
事業	ごみの分別徹底を市民や事業者へ啓発し、ごみの排出抑制・再資源化を推進することでごみの減量化を図る。					
現状と課題	ごみの排出量を削減するためには、市民や事業者が一般廃棄物処理基本計画に定めた、ごみの排出やリサイクルについての自己意識を高めることが重要です。排出されるごみを可能な限り再資源化し、資源の有効利用、環境負荷を低減を図りながら適正処理・処分を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別徹底の指導</li> <li>適切な排出方法の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな方策の検討</li> <li>分別徹底の指導</li> <li>適正な排出方法の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな方策の検討</li> <li>分別徹底の指導</li> <li>適正な排出方法の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな方策の検討</li> <li>分別徹底の指導</li> <li>適正な排出方法の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな方策の検討</li> <li>分別徹底の指導</li> <li>適正な排出方法の啓発</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙4月号、7月号、10月号で周知、啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙6月号、10月号、12月号、1月号で周知、啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙5月号、6月号、8月号、3月号で周知、啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙5月号、8月号、10月号、1月号、3月号で周知、啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙で周知、啓発を行った。</li> <li>ごみの適正な分別について広報紙やホームページで周知した。</li> </ul>
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の指導や広報紙の周知を行うとともに、資源の有効利用を図りながら適正な処理、処分を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の指導や広報紙の周知を行うとともに、資源の有効利用を図りながら適正な処理、処分を行った。人口の増加により資源物の排出量が増加したが、ごみの総排出量も増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の指導や広報紙の周知を行うとともに、資源の有効利用を図りながら適正な処理、処分を行った。人口の増加により資源物の排出量が増加したが、ごみの総排出量も増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の指導や広報紙の周知を行うとともに、資源の有効利用を図りながら適正な処理、処分を行った。人口の増加により資源物の排出量が増加したが、ごみの総排出量も増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のごみ分別やリサイクルに関する意識向上を図ることができた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-7	施策	家庭ごみの中で最も多い紙・布類（汚れたもの以外）の資源物回収を推進します。			
事業	家庭から排出される紙や布類など資源物としての回収を推進し、ごみの減量化・再資源化を図る。					
現状と課題	家庭から排出される紙や布類は、資源物としてではなく、可燃ごみ、不燃ごみとして排出される傾向にある。紙や布類はなるべく資源物として排出するよう周知・啓発し、意識を高めることで、ごみの減量化・再資源化を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・分別回収の啓発により紙や布類を資源物として排出するよう推進する。	・分別回収の啓発により紙や布類を資源物として排出するよう推進する。	・分別回収の啓発により紙や布類を資源物として排出するよう推進する。	・分別回収の啓発により紙や布類を資源物として排出するよう推進する。	・分別回収の啓発により紙や布類を資源物として排出するよう推進する。
	年度実績	・広報紙7月号、10月号、1月号に啓発記事を掲載し再資源化を推進した。	・広報紙6月号、10月号、12月号、1月号で啓発記事を掲載し再資源化を推進した。	・広報紙5月号、6月号、8月号、3月号で周知、啓発を行った。	・広報紙5月号、8月号、10月号、1月号、3月号で周知、啓発を行った。	・広報紙で周知、啓発を行った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・紙や布類の回収量が増加したため、一定の効果は得られた。	・紙や布類の回収量が増加したため、一定の効果は得られた。	・紙や布類の回収量が増加したため、一定の効果は得られた。	・紙や布類の回収量が増加したため、一定の効果は得られた。	・紙や布類の回収量は、コロナ禍により大きく増加した昨年度よりは若干減少したが、一昨年度を上回る回収量であったため、一定の効果は得られた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-8	施策	家庭ごみの中で二番目に多いビニールや合成樹脂のごみを減らすため、使い捨てのレジ袋の利用をやめ、エコバックの利用を推進します。			
事業	買い物袋やマイバックの利用を推進し、ビニールごみの排出抑制に努める。					
現状と課題	ビニールごみの減量化に向け、スーパーマーケットや小売店と協力し、使い捨てレジ袋を減らすためエコバック利用の推進を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・エコバック利用推進	・エコバック利用推進	・エコバック利用推進	・エコバック利用推進	・エコバック利用推進
	年度実績	・パンフレットを窓口に設置し啓発を行った。	・パンフレットを窓口に設置し啓発を行った。	・パンフレットを窓口に設置し啓発を行った。	・パンフレットを窓口に設置し啓発を行った。	・パンフレットを窓口に設置し啓発を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・エコバック利用者は増加傾向にあり、効果が見られた。	・エコバック利用者は増加傾向にあり、効果が見られた。	・エコバック利用者は増加傾向にあり、効果が見られた。	・パンフレットの啓発に加え、2020年7月より全国でレジ袋有料化となり、エコバック利用者は増加し、効果が見られた。	・パンフレットの啓発に加え、レジ袋有料化の影響もあるが、スーパーやコンビニでエコバック利用を見かけることが多くなった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-9	施策	家庭ごみのうち最も水分量が多い生ごみの減量のため、水切りの徹底などを推進します。また、生ごみが出ないエコクッキングの普及・啓発を推進します。			
事業	ごみの減量化を図るため、生ごみの水切り徹底、食品ロスや食べ残しの削減を推進する。					
現状と課題	生ごみの大部分は水分なので「水きりの大切さ」を周知、啓発することによりごみの減量化を図る。 また、3010運動（宴会などで開始30分と終わりの10分は席で食事を楽しむ運動）やエコクッキング等を広報紙やホームページに掲載し、普及啓発を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・広報紙やホームページで生ごみの水切りや食品ロスについて啓発し生ごみの削減を推進する。	・広報紙やホームページで生ごみの水切りや食品ロスについて啓発し生ごみの削減を推進する。	・広報紙やホームページで生ごみの水切りや食品ロスについて啓発し生ごみの削減を推進する。	・広報紙やホームページで生ごみの水切りや食品ロスについて啓発し生ごみの削減を推進する。	・広報紙やホームページで生ごみの水切りや食品ロスについて啓発し生ごみの削減を推進する。
	年度実績	・広報紙に啓発記事を掲載した。 ・市内飲食店34件へ3010運動の啓発を行った。	・ホームページや広報紙8月号に啓発記事を掲載した。	・ホームページや広報紙7月号に啓発記事を掲載した。	・ホームページや広報紙7月号に啓発記事を掲載した。	・ホームページや広報紙に啓発記事を掲載した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・広報紙への掲載や飲食店への周知により啓発を行い食品ロスの削減を推進することができた。	・広報紙への掲載により啓発を行い食品ロスの削減を推進したが、人口の増加により可燃ごみの排出量が増加しておりごみの減量化は達成できなかった。	・広報紙への掲載により啓発を行い食品ロスの削減を推進したが、人口の増加により可燃ごみの排出量が増加しておりごみの減量化は達成できなかった。	・広報紙への掲載により啓発を行い食品ロスの削減を推進したが、人口の増加により可燃ごみの排出量が増加しておりごみの減量化は達成できなかった。	・広報紙で食品ロスや食品リサイクル事業の記事を掲載し、食品ロス削減の意識向上を図った。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-10	施策	環境に配慮した商品やごみの減量化に取り組んでいる商店のエコショップ制度への登録を促進し、市民への周知を図ります。			
事業	環境に優しい商品の販売やごみ減量化・リサイクル活動に積極的に取り組む小売店舗をエコショップとして認定し、市民に広くPRする。					
現状と課題	制度が浸透していないため現在、4店舗の認定となっている。 今後、制度や認定店の活動を周知し取り組みの活性化を図ることでエコショップ制度の推進を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度への登録促進</li> <li>広報紙やホームページを活用した周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度への登録促進</li> <li>広報紙やホームページを活用した周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度への登録促進</li> <li>広報紙やホームページを活用した周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度への登録促進</li> <li>広報紙やホームページを活用した周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度への登録促進</li> <li>広報紙やホームページを活用した周知</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで制度の周知を行い登録の促進を図った。</li> <li>登録事業所が1店舗増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで制度の周知を行い登録の促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで制度の周知を行い登録の促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで制度の周知を行い登録の促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで制度の周知を行い登録の促進を図った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度の周知により登録店が増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度の周知したが新たな登録店は無かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度の周知したが新たな登録店は無かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度の登録店は無かったが登録促進の周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコショップ制度の周知により登録店が1件増加した。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。(不法投棄防止事業)					
施策番号	2-2	施策				
事業	警察、茨城県のU. D. 監視員や、本市で新しく組織するボランティアUD監視員と連携しながら、不法投棄防止パトロールを実施するとともに、不法投棄が多発する場所へ監視カメラを設置し、不法投棄の未然防止を行う。 また、広報紙やホームページなどを活用し啓発することで不法投棄対策を推進する。					
現状と課題	不法投棄対策として職員や、UD監視員によるパトロール活動を行っているが、不法投棄は毎年度発生している。 監視カメラ、啓発看板の設置や広報紙等による啓発により不法投棄の未然防止を図っていく、また、不法投棄の行為者を特定し、指導していくことで投棄件数を減少させることにより対策の推進を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	不法投棄件数42件 (85件)	不法投棄件数40件 (56件)	不法投棄件数38件 (32件)	不法投棄件数36件 (37件)	不法投棄件数34件 (32件)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄対策の推進</li> <li>看板、監視カメラの設置</li> <li>広報紙による啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄対策の推進</li> <li>広報紙による啓発</li> <li>新たな活動の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄対策の推進</li> <li>広報紙による啓発</li> <li>新たな活動の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄対策の推進</li> <li>広報紙による啓発</li> <li>新たな活動の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄対策の推進</li> <li>広報紙による啓発</li> <li>新たな活動の検討</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールによる監視を実施し、不法投棄禁止看板や監視カメラを設置した。</li> <li>広報紙に啓発記事を掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールによる監視を実施した。</li> <li>不法投棄禁止看板や監視カメラを設置した。</li> <li>広報紙に啓発記事を掲載した。</li> </ul>			
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや看板、監視カメラの設置により一定の効果はあったが、不法投棄発生件数は増加したため、新たな活動を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや看板、監視カメラの設置により一定の効果はみられ、不法投棄発生件数は昨年度より減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや看板、監視カメラの設置により一定の効果はみられ、不法投棄発生件数は昨年度より減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや看板、監視カメラの設置により一定の効果はみられたが、ゲリ的な不法投棄が多発したため、件数は昨年度より増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや看板、監視カメラの設置により一定の抑止効果があった。</li> <li>不法投棄件数も減少し目標値を達成した。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-1	施策	不法投棄の実態を市のホームページや広報等で提示します。			
事業	不法投棄防止パトロールを行うとともに、広報紙やホームページなどを活用した啓発活動を行う。					
現状と課題	不法投棄は依然として毎年発生している状況である。 市内で発生した不法投棄の案件を広報紙やホームページに掲載することで不法投棄に関する市民の意識向上を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止強調月間に啓発活動の実施</li> <li>広報紙やホームページなどへの記事掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>U.D.監視員による監視の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>U.D.監視員による監視の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>U.D.監視員による監視の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>U.D.監視員による監視の強化</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールの実施</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、2月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールの実施</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、11月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールの実施</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、11月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールの実施</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、11月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールを週3回実施</li> <li>市内で不法投棄が発生していることや、不法投棄防止の啓発のための記事を広報紙に掲載した。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや広報紙による啓発記事を掲載し、啓発活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや広報紙による啓発記事を掲載し、啓発活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや広報紙による啓発記事を掲載し、啓発活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールや広報紙による啓発記事を掲載し、啓発活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パトロールにより、不法投棄の抑止が図れた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-2	施策	不法投棄を禁止する看板の設置や市ホームページ、市広報の活用による啓発活動を推進します。			
事業	不法投棄防止パトロールを行うとともに、広報紙やホームページなどを活用した啓発活動を行う。					
現状と課題	不法投棄は依然として毎年発生している状況である。 市内で発生した不法投棄の案件を広報紙やホームページに掲載することで不法投棄に関する市民の意識向上を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板の設置</li> <li>広報紙やホームページなどへの記事掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板の設置</li> <li>広報紙やホームページなどへの記事掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板の設置</li> <li>広報紙やホームページなどへの記事掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板の設置</li> <li>広報紙やホームページなどへの記事掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板の設置</li> <li>広報紙やホームページなどへの記事掲載</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板を設置した。</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、2月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板を設置した。</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、11月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板を設置した。</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、11月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板を設置した。</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を6月号、11月号に掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止看板を設置した。</li> <li>市内で不法投棄が発生していることを、広報紙で周知し、啓発のための記事を掲載した。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による記事の掲載や看板の設置により市民の意識向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による記事の掲載や看板の設置により市民の意識向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による記事の掲載や看板の設置により市民の意識向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による記事の掲載や看板の設置により市民の意識向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙による記事の掲載や看板の設置により市民の意識向上を図れた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。(不法投棄防止事業)					
施策番号	2-2-3	施策	警察、茨城県ボランティアU.D.監視員等との連携によりパトロール活動を充実させ、未然防止や早期発見を図ります。			
事業	警察、茨城県のU. D. 監視員や、本市で新しく組織するU. D. 監視員と連携しながら、不法投棄防止パトロールを実施し、監視体制の充実・強化を図る。					
現状と課題	不法投棄対策としては、早期発見、早期対応が重要であることから、市民のボランティアにより構成するU. D. 監視員によるパトロール活動を充実させることで監視体制の充実を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員の要綱制定</li> <li>パトロール活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員の登録</li> <li>パトロール活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員の登録</li> <li>パトロール活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員の登録</li> <li>パトロール活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員の登録</li> <li>パトロール活動</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員の要綱作成</li> <li>週3回のパトロールを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員を10名任命した。</li> <li>週3回のパトロールを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員と合同パトロールを実施した。</li> <li>週3回のパトロールを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員と合同パトロールを実施した。</li> <li>週3回のパトロールを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ボランティアUD監視員と合同パトロールを実施した。</li> <li>週3回のパトロールを実施した。</li> </ul>
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>要綱を作成、次年度の発足に向けた準備を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10名の監視員を任命し、市内各地区での監視体制の強化が図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各地区での監視体制の強化が図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各地区での監視体制の強化が図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各地区での監視体制の強化が図れた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-4	施策	監視カメラ等を設置し、関係機関の協力を得て、不法投棄を防止します。			
事業	監視体制を強化するため、不法投棄が多発する場所へ監視カメラを設置し、不法投棄の未然防止と撤去指導を行う。					
現状と課題	不法投棄が多発する場所に不法投棄の抑制、防止のためにカメラを設置し、監視を行なう。 監視カメラを設置することで、不法投棄を抑止するとともに、行為者を特定し関係機関からの協力を得ながら迅速な指導を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・監視カメラの設置 (1台)	・監視カメラの設置 (1台)	・監視カメラの設置 (1台)	・監視カメラの設置 (1台)	・監視カメラの設置 (1台)
	年度実績	・東楯戸台線の南地内に監視カメラ設置	・ワープロードの神生地内に監視カメラ設置	・東楯戸台線の田村地内に監視カメラ設置	・東楯戸台線の福岡地内に監視カメラ設置	・野田牛久線の野堀地内に監視カメラ設置
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・監視カメラ設置場所については、抑止効果が図られ、発生はなかった。	・監視カメラ設置場所については、抑止効果が図られ、発生はなかった。	・監視カメラ設置場所については、概ね抑止効果が図られたが、カメラの死角で不法投棄が1件発生した。	・監視カメラ設置場所については、概ね抑止効果が図られた。	・監視カメラを増設したことで、監視を強化し不法投棄の抑止が図られた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3	施策				
事業	つくばみらい市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の事務事業により発生する温室効果ガス排出量削減を図る。					
現状と課題	温室効果ガスの排出量を削減するためには、公共施設の設備改修や次世代エコカーの導入が必要であり多くの費用を要するため、地球温暖化対策の観点から設備改修や次世代エコカーの導入を促進する。 また、新エネルギー導入のための調査研究や、森林などの保全を推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	市役所の温室効果ガス排出量 6,146,500 (6,685,773)	市役所の温室効果ガス排出量 5,986,100 (6,468,951)	市役所の温室効果ガス排出量 5,825,800 (6,464,808)	市役所の温室効果ガス排出量 5,665,400 (6,188,773)	市役所の温室効果ガス排出量 5,505,000 (6,217,544)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画の推進</li> <li>新エネルギー導入の調査研究及び森林保全の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き温室効果ガス削減に取り組む</li> <li>再生可能エネルギー導入の調査研究</li> </ul>			
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画を推進した。</li> <li>新エネルギー導入の調査研究及び森林保全の推進を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画を推進した。</li> <li>再生可能エネルギー導入の調査研究を行った。</li> </ul>			
	自己評価	-	-	-	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
効果	地球温暖化対策の実施結果による。	地球温暖化対策の実施結果による。	地球温暖化対策の実施結果による。	地球温暖化対策の実施結果による。	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量削減を図ったが、目標値に及ばなかった。</li> <li>公共施設への再生エ導入に向けた方向性を決めることができた。</li> </ul>	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-1	施策	公共施設における省エネルギー機器や再生可能エネルギー設備の導入を推進します。			
事業	公共施設への省エネルギー機器や再生可能エネルギー設備の導入を推進する。					
現状と課題	省エネルギー機器の導入は環境への負荷低減のほか、コストの削減にもつながるので、積極的な導入を図るよう推進する。公共施設への再生可能エネルギー設備の導入は、耐用年数や改修の時期を考慮し設備の更新を行うため、導入までに時間を要する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・省エネ機器、再生可能エネルギー設備導入の推進	・省エネ機器、再生可能エネルギー設備導入の推進	・省エネ機器、再生可能エネルギー設備導入の推進	・省エネ機器、再生可能エネルギー設備導入の推進	・省エネ機器、再生可能エネルギー設備導入の推進
	年度実績	・公共施設における再生可能エネルギー設備の推進を行った。	・公共施設における再生可能エネルギー設備の推進を行った。	・公共施設における再生可能エネルギー設備の推進を行った。	・公共施設における再生可能エネルギー設備の推進について、庁舎管理の財政課へ、国補助制度の案内を行った。	・公共施設における再生可能エネルギー設備の推進について、庁舎管理の財政課へ、国補助制度の案内を行った。 ・小絹小学校において教室の照明をLED化に改修した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・富士見ヶ丘小学校に太陽光発電設備を新規導入し、環境負荷低減を図った。	・再生可能エネルギー設備を導入した施設は無かった。	・再生可能エネルギー設備を導入した施設は無かった。	・再生可能エネルギー設備を導入した施設は無かった。	・省エネ機器を1施設導入し、環境への負荷低減が図れた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-2	施策	防犯灯のLED化を推進します。（防犯灯LED化事業）			
事業	平成29年度から3年計画で、蛍光灯仕様の防犯灯をLED化仕様に切り替えを図る。					
現状と課題	蛍光灯仕様の防犯灯は3年計画で更新し、その切り替え後水銀灯仕様の防犯灯の更新を行う。 令和2年度から検討を始める水銀灯仕様のLED化については、蛍光灯仕様の防犯灯に比べ容量が大きく、仕様が異なるので、予算確保が課題となる。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	防犯灯LED化率35% (38%)	防犯灯LED化率60% (64%)	防犯灯LED化率80% (86%)	防犯灯LED化率81% (90%)	防犯灯LED化率82% (93%)
	行動計画	・防犯灯改修工事 ・蛍光灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・蛍光灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・蛍光灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・水銀灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・水銀灯仕様防犯灯のLED化
	年度実績	・1,240基の防犯灯を改修工事によりLED化した。	・1,233基の防犯灯を改修工事によりLED化した。	・1,049基の防犯灯を改修工事によりLED化した。	・250基の水銀灯仕様防犯灯をLED化した。	・122基の水銀灯仕様防犯灯をLED化した。
	自己評価	1 計画以上に達成できた				
	効果	・蛍光灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・蛍光灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・蛍光灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・水銀灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・水銀灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-3	施策	公共施設への節水型設備や雨水利用等の導入を促進します。			
事業	公共施設の改築等に合わせ節水型のトイレ、水回り設備の導入を推進するとともに、雨水利用設備の導入を検討し雨水の再利用を促進する。					
現状と課題	市の保有する設備には、耐用年数をにより改修が必要な施設が多く存在する。改修に合わせて水回りやトイレ等に節水型設備の導入を推進するとともに、雨水利用設備については、導入した市町村の利用方法などについて調査研究を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・節水型設備導入の推進	・節水型設備導入の推進	・節水型設備導入の推進	・節水型設備導入の推進	・節水型設備導入の推進
		・雨水利用設備の調査研究	・雨水利用設備の調査研究	・雨水利用設備の調査研究	試験導入・実績調査	試験導入・実績調査
	年度実績	・設備の導入に向けた調査の実施	・設備の導入に向けた調査の実施	・設備の導入に向けた調査の実施	・谷和原庁舎及び谷原小学校において節水型トイレに改修。 ・谷和原庁舎敷地内に設置可能か、雨水貯水タンク導入の検討を行った。	・小絹中学校において節水型トイレに改修。 ・雨水タンク導入を検討した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・試験導入に向けた調査研究を行った。	・試験導入に向けた調査研究を行った。	・試験導入に向けた調査研究を行った。	・節水型トイレを新たに導入した。 ・雨水貯水タンク導入の必要性について、今後も検討する必要がある。	・節水型トイレを新たに導入した。 ・雨水貯水タンク導入の必要性について、雨水管の改修や雨水タンク設備導入の費用対効果を考え、一時保留にする。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-4	施策	市で使用する車両については次世代エコカー（電気自動車、燃料電池自動車等）の導入を検討します。			
事業	次世代エコカーの導入を検討する。					
現状と課題	市で使用する車両にはハイブリット車の導入が進んでおり、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。予算の確保が課題となるが、地球温暖化対策を推進するためには、市が住民や事業者に対し模範的な取組を示すためにも導入を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保
	年度実績	・導入のため検討を行 ったが、予算の確保 には至らなかった。	・導入のため検討を行 ったが、予算の確保 には至らなかった。	・導入のため検討を行 ったが、予算の確保 には至らなかった。	・公用車管理の財政課 へ、国補助制度の案内 を行った。	・公用車管理の財政課 へ、国補助制度の案内 を行った。
	自己評価	4 計画には及ばな かった	4 計画には及ばな かった	4 計画には及ばな かった	3 概ね計画どおり達 成できた	3 概ね計画どおり達 成できた
	効果	・次世代エコカーの導 入に至らなかった。	・予算確保が出来ず、 次世代エコカーの導入 に至らなかった。	・予算確保が出来ず、 次世代エコカーの導入 に至らなかった。	・次世代エコカーの導 入に至らなかったが、 低燃費車2台を導入し た。	・次世代エコカーの導 入に至らなかったが、 ハイブリット車1台、低燃 費車6台を導入した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-5	施策	二酸化炭素を吸収するよう樹林地などの保全を推進します。			
事業	二酸化炭素を吸収するよう樹林地などの保全を推進する。					
現状と課題	本市が策定した森林整備計画に基づき適正に森林保護等を行っている。 樹林地の保護指定箇所がない状況であるが、地球温暖化防止に資するため、樹林地の保護について調査研究を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・森林などの保全を促進するため樹林地の調査研究を図る。	・森林などの保全を促進するため樹林地の調査研究を図る。	・森林などの保全を促進するため樹林地の調査研究を図る。	・広報紙により伐採届の制度を周知し無届伐採を抑制するとともに、提出された伐採届の内容が市森林整備計画に適合しない場合は指導を行うことで森林を保護する	・広報紙により伐採届の制度を周知し無届伐採を抑制するとともに、提出された伐採届の内容が市森林整備計画に適合しない場合は指導を行うことで森林を保護する
	年度実績	・樹林地の保全、促進に関する調査、研究を行う。	・樹林地の保全、促進に関する調査、研究を行う。	・樹林地の保全、促進に関する調査、研究を行う。	広報紙やホームページを活用し伐採届の周知及び届出の推進を行った。	広報紙やホームページを活用し伐採届の周知及び届出の推進を行った。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・引き続き森林保護に向けた調査研究を実施し樹林地の保全に関する施策を検討する。	・引き続き森林保護に向けた調査研究を実施し樹林地の保全に関する施策を検討する。	・引き続き森林保護に向けた調査研究を実施し樹林地の保全に関する施策を検討する。	・伐採届の提出により無断伐採の抑制につながった。	・伐採届の提出により無断伐採の抑制につながった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-6	施策	新エネルギー等の普及と導入を促進するための調査研究をします。			
事業	石油など化石燃料の代替エネルギーとなる太陽光発電や風力発電、バイオマスエネルギー等の調査研究を行う。					
現状と課題	化石燃料の代替となる新エネルギー等を普及し導入を促進することは、低炭素化社会の実現や地球温暖化対策には有効な手段であるため国や茨城県などと連携し、新エネルギー等について調査研究する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・新エネルギーの調査研究	・新エネルギーの調査研究	・新エネルギーの調査研究	・事業の検討	・事業の検討
	年度実績	・新エネルギーに関する調査研究を実施した。	・新エネルギーに関する調査研究を実施した。	・新エネルギーに関する調査研究を実施した。	・高砂熱学工業連携協定において、新エネルギーの調査・研究を連携して行うことを確認した。	・高砂熱学工業連携協定において、公共施設の太陽光発電設備導入における、環境省補助制度の調査・検討を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・事業の検討に向けた調査を行い、事業の検討に向けた情報収集ができた。	・事業の検討に向けた調査を行い、事業の検討に向けた情報収集ができた。	・事業の検討に向けた調査を行い、事業の検討に向けた情報収集ができた。	・高砂熱学工業(株)で使用しているバイオマスエネルギーについて視察を行い、今後導入可能か、事業検討の対象とする。	・公共施設への再エネ導入に向けた方向性を決めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-7	施策	茨城県の「いばらき水素戦略」の導入を検討します。			
事業	水素燃料等に関係する調査研究を行い、いばらき水素戦略の導入を検討する。					
現状と課題	いばらき水素戦略の導入に向け、本市でどのような取組ができるか水素の利活用に関する調査研究を行う。 茨城県の補助事業を利用しエネファームやリチウムイオン蓄電システムの導入者に補助金を交付する制度を開始する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素戦略に関する調査研究</li> <li>補助制度の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素戦略に関する調査研究</li> <li>補助制度の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素戦略に関する調査研究</li> <li>補助制度の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素戦略に関する調査研究</li> <li>補助制度の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素戦略に関する調査研究</li> <li>補助制度の運用</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素利用促進協議会への参加</li> <li>水素を利用するエネルギー設備の導入を促進するため、補助事業を実施し、6件の申請があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素利用促進協議会への参加</li> <li>水素を利用するエネルギー設備の導入を促進するため、補助事業を実施し、27件の申請があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素利用促進協議会への参加</li> <li>水素を利用するエネルギー設備の導入を促進するため、補助事業を実施し、21件の申請があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素利用促進協議会への参加</li> <li>水素を利用するエネルギー設備の導入を促進するため、補助事業を実施し、23件の申請があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき水素利用促進協議会への参加</li> <li>リチウムイオン蓄電システムの導入を促進するため、補助事業（1件50,000円）を実施し、28件の申請があった。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会に参加し水素利用に関する調査研究を行った。</li> <li>補助事業を実施したが、見込みより申請件数が少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会に参加し水素利用に関する調査研究を行った。</li> <li>補助事業を実施し、ほぼ見込み通りの申請件数だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会に参加し水素利用に関する調査研究を行った。</li> <li>補助事業を実施したが、見込みより申請件数が少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止のため、研修会は書面開催となり、燃料電池自動車や水素ステーションなど、水素利用に関する調査研究を行った。</li> <li>多くの申込みがあり、リチウムイオン蓄電システム導入の促進と脱炭素への意識向上を図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止のため、研修会は書面開催となり、燃料電池自動車や水素ステーションなど、水素利用に関する調査研究を行った。</li> <li>多くの申込みがあり、リチウムイオン蓄電システム導入の促進と脱炭素への意識向上を図れた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-8	施策	市民・事業者に向けて省資源・省エネルギー等の地球温暖化防止に関する啓発を推進します。			
事業	省エネルギーに結びつく機器に関する情報提供と普及啓発により、家庭や事業所での省エネルギーの実践を推進する。					
現状と課題	手軽に取り組める省エネの手法をホームページで紹介し家庭や事業所での省資源・省エネルギーに関する取り組みを推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・取り組みやすい省エネ方法の啓発	・取り組みやすい省エネ方法の啓発	・取り組みやすい省エネ方法の啓発	・取り組みやすい省エネ方法の啓発	・取り組みやすい省エネ方法の啓発
	年度実績	・啓発のための情報収集を行った。	・啓発のための情報収集を行った。	・省エネに取り組む情報をホームページに掲載した。	・省エネに取り組む情報をホームページに掲載した。	・省エネに取り組む情報をホームページに掲載した。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・ホームページに掲載するための情報収集ができなかった。	・ホームページに掲載するための情報収集ができなかった。	・ホームページに掲載し、市民への啓発を図ることができた。	・市民への啓発を図り、関心を高めることができた。	・市民への啓発を図り、関心を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-9	施策	省エネルギー製品への買い替えなど地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」を推進します。			
事業	ポスターの掲示や、広報紙等を活用しクールチョイスを推進する。					
現状と課題	環境省が推進するクールチョイスを普及するため、ポスターの掲示やパンフレットの配布など普及啓発に取り組んでいる。温室効果ガスの排出量削減を図るには、一人ひとりの取組が必要であることから、市民や事業者へ普及啓発し事業を推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・クールチョイスの普及、啓発	・クールチョイスの普及、啓発	・クールチョイスの普及、啓発	・クールチョイスの普及、啓発	・クールチョイスの普及、啓発
	年度実績	・イベントにおける啓発品を配布し、制度の推進を図った。	・イベントにおける啓発品を配布し、制度の推進を図った。	・イベントにおける啓発品を配布し、制度の推進を図った。	・新型コロナウイルスの影響により、イベントにおける啓発品を配布することができなかったため、窓口で配布を行った。	・ポスターの掲示や、パンフレットを窓口で配布し啓発を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・啓発品の配布により意識向上を図ったが、全体的な効果は少ない。	・啓発品の配布により意識向上を図ったが、全体的な効果は少ない。	・啓発品の配布により意識向上を図ったが、全体的な効果は少ない。	・啓発品の配布により意識向上を図った。	・啓発により省エネルギー製品への意識向上を図った。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-10	施策	住宅を建て替える市民に対し、省エネルギー性能の向上と再生可能エネルギーを導入した「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の選択を勧めます。			
事業	「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の導入を進めるため、市民への周知や情報提供を行う。					
現状と課題	低炭素化社会の実現に向け「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」を導入するよう市民への周知や情報提供を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・パンフレットの配布により市民への周知を図る。	・パンフレットの配布により市民への周知を図る。	・パンフレットの配布により市民への周知を図る。	・パンフレットの配布により市民への周知を図る。	・パンフレットの配布により市民への周知を図る。
	年度実績	・庁舎の窓口でパンフレット等による情報提供を図った。	・庁舎の窓口でパンフレット等による情報提供を図った。	・庁舎の窓口でパンフレット等による情報提供を図った。	・庁舎の窓口でパンフレット等による情報提供を図った。	・庁舎の窓口でパンフレット等による情報提供に加え、新たにホームページで周知を図った。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・パンフレットによる情報提供を行ったが、全体的な効果は少ない。	・パンフレットによる情報提供を行ったが、全体的な効果は少ない。	・パンフレットによる情報提供を行ったが、全体的な効果は少ない。	・パンフレットによる情報提供を行ったが、全体的な効果は少ない。今後情報提供の方法を変えていく必要がある。	・ホームページやパンフレットで周知を図ったことにより、市民の関心を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-11	施策	環境家計簿の利用による日常生活における省資源・省エネルギーを推進します。			
事業	環境家計簿で家庭や事業所でのCO2排出量を算出することにより、省エネルギーの取組を推進する。					
現状と課題	環境家計簿は日常生活で排出するCO2量を簡単に確認できるため、身近でかつ取組みやすいが、地域ごとに電気、水道及びガスに対するCO2換算係数が違うため、各地域での作成が必要となる。 本市においても、環境家計簿の作成を検討し、市民に公表することにより、日常生活での省資源・省エネルギー化を推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・環境家計簿の調査	・環境家計簿の計画	・環境家計簿策定準備	・環境家計簿策定準備	・環境家計簿の導入
	年度実績	・他の市町村における取組状況を調査した。	・環境家計簿の計画を作成した。	・環境家計簿(案)を策定した。	・環境家計簿を策定した。	・環境家計簿を導入し、ホームページで公表した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・環境家計簿作成に向けた調査ができた。	・環境家計簿作成に向けた計画が出来なかった。	・環境家計簿作成に向けた策定が出来なかった。	・環境家計簿導入に向けた準備が整った。	・環境家計簿で市民の日常生活での省エネルギー化の関心を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-12	施策	市民・事業者に向けて市ホームページ、広報紙での節水啓発を行います。（節水協力事業）			
事業	市民・事業者に向けて節水啓発活動を行うことにより、貴重な水資源を守り自然環境の保護に努めるとともに、低炭素社会への推進を図る。					
現状と課題	節水器具の普及などにより、市民の節水意識は高まっている。今後も引き続き啓発活動を行い、市民・事業者へ積極的な取り組みを推進する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	水道使用量231 ℓ/人・日 (234ℓ/人・日)	水道使用量231 ℓ/人・日 (233ℓ/人・日)	水道使用量231 ℓ/人・日 (233ℓ/人・日)	水道使用量231 ℓ/人・日 (244ℓ/人・日)	水道使用量230 ℓ/人・日 (242ℓ/人・日)
	行動計画	・市ホームページ、広報紙による啓発活動	・広報紙による啓発活動	・広報紙による啓発活動	・広報紙やホームページによる啓発活動	・広報紙やホームページによる啓発活動
	年度実績	・広報紙により節水啓発活動を行った。	・広報紙により節水啓発活動を行った。	・広報紙により節水啓発活動を行った。	・広報紙により節水啓発活動を行った。	・広報紙により節水啓発活動を行った。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・節水啓発活動を行い市民の節水意識の向上を図った。	・節水啓発活動を行い市民の節水意識の向上を図った。	・節水啓発活動を行い市民の節水意識の向上を図った。	・節水啓発活動を行い市民の節水意識の向上を図ったが、コロナ禍により自宅滞在時間が増え、目標値に及ばなかった。	・市民の節水意識の向上を図り前年度より減少したが、目標値に及ばなかった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-13	施策	公共施設への緑のカーテンの設置を図ります。			
事業	市の管理する公共施設において、緑のカーテンを設置し直射日光を遮断することで、室温の上昇を抑え冷房の効果を向上させ電気使用量の削減を図る。					
現状と課題	各公共施設で緑のカーテンを設置しているが、設置や維持管理に労力を要しているのが現状である。 緑のカーテンを設置することによる周辺の気温や室温の低下を検証するためのデータ収集を行なうとともに、事業を継続するための予算の確保が課題となる。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・緑のカーテンの設置 ・気温や室温等データ収集	・緑のカーテンの設置 ・気温や室温等データ収集	・緑のカーテンの設置 ・気温や室温等データ収集	・緑のカーテンの設置 ・気温や室温等データ収集	・緑のカーテンの設置 ・気温や室温等データ収集
	年度実績	・市の公共施設6カ所で緑のカーテンを設置。	・市の公共施設6カ所で緑のカーテンを設置。	・市の公共施設6カ所で緑のカーテンを設置。	・市の公共施設6カ所で緑のカーテンを設置。	・市の公共施設7カ所で緑のカーテンを設置。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・緑のカーテンを設置したが、データ収集はできなかったため、削減効果を検証することができなかった。	・緑のカーテンを設置したが、データ収集はできなかったため、削減効果を検証することができなかった。	・緑のカーテンを設置したが、データ収集はできなかったため、削減効果を検証することができなかった。	・緑のカーテンを設置し、データ収集を行い、温室効果ガス削減効果を検証したが、コロナ渦で職員勤務時間にフレックス制を導入したため、冷房使用時間も例年より長くなり、前年と比較して電気使用量が増加し、温室効果ガス排出量が増加した。	・緑のカーテンの外の壁と内の壁では約5℃差があり、緑のカーテンを設置する方が室内の温度上昇を抑え冷房の使用を減少させることにより、温室効果ガス排出量の削減に繋がった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-14	施策	事業者に対し、フロン排出抑制法に基づくフロン類の適正な回収・処理を啓発します。			
事業	事業者に対しフロン類の適正な回収・処理を啓発します。					
現状と課題	フロン排出抑制法に基づき、適正な回収・処理方法を、ホームページなどで情報提供することにより適正な回収・処理を行うよう啓発する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・適正処理方法についての情報収集	・適正処理方法についての情報収集	・ホームページの作成、情報提供	・適正処理方法についての情報提供	・適正処理方法についての情報提供
	年度実績	・フロンガスの適正な廃棄方法についての情報収集を行った。	・フロンガスの適正な廃棄方法についての情報収集を行った。	・フロンガスの適正な廃棄方法について、ホームページにて公表した。	・フロンガスの適正な廃棄方法について、ホームページにて公表した。	・フロンガスの適正な廃棄方法について、ホームページにて公表した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・情報提供を行うための情報収集ができた。	・情報提供を行うための情報収集ができた。	・ホームページで情報提供を行い、市民への啓発を図ることができた。	・ホームページで情報提供を行い、市民への啓発を図ることができた。	・フロン類の適正な回収・処理について、市民への啓発を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-15	施策	ノンフロン製品の使用を啓発します。			
事業	ノンフロン製品を使用し地球温暖化防止への取り組みを啓発する。					
現状と課題	フロン類は二酸化炭素に比べ数百倍以上の温室効果をもたらすため、ノンフロン製品の使用を啓発することが必要である。市民や事業者等へ啓発するため情報収集を行なう。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・ノンフロン製品の情報収集	・ノンフロン製品の情報収集	・ノンフロン製品の情報収集	ノンフロン製品の情報提供	ノンフロン製品の情報提供
	年度実績	・ノンフロン製品の使用を啓発するため製品の情報収集を行った。	・ノンフロン製品の使用を啓発するため製品の情報収集を行った。	・ノンフロン製品の使用を啓発するため製品の情報収集を行った。	・ノンフロン製品の使用を啓発するためホームページに公表した。	・ノンフロン製品の使用を啓発するためホームページに公表した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・情報提供を行うための情報収集ができた。	・情報提供を行うための情報収集ができた。	・情報提供を行うための情報収集ができた。	・ホームページで情報提供を行い、市民への啓発を図ることができた。	・ノンフロン製品の情報について、市民への啓発を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-16	施策	自動車運行による二酸化炭素排出量の削減のため、ノーカーデーを設け、公共交通機関の利用促進や自動車通勤における相乗りの励行を図ります。			
事業	自動車運行による排気ガスの低減のため、ノーマイカーデーを設け公共交通機関や相乗り、自転車での通勤を励行する。					
現状と課題	現在ノーマイカーデーの取組を行っていないため、定期的にノーマイカーデーを実施するよう計画を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・実施に向けた調査研究	・実施計画の策定 ・協力企業との調整	・実施計画の策定 ・協力企業との調整	・ノーマイカーデー実施	・ノーマイカーデー実施の検討
	年度実績	・ノーマイカーデーの実施に向けた調査研究を行った。	・ノーマイカーデーの実施に向けた計画の策定及び協力企業との調整を行った。	・ノーマイカーデーの実施に向けた計画の策定及び協力企業との調整を行った。	・新型コロナウイルス感染防止のため、ノーマイカーデーの実施を見合わせた。	・市内の公共交通機関の利用に限界はあるが、できる限り利用するよう、窓口で公共交通機関利用促進のパンフレットを配布した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・平成30年度から実施するための準備を行った。	・計画の策定は進めたが、協力企業との調整ができなかった。	・計画の策定は進めたが、協力企業との調整ができなかった。	・二酸化炭素排出量の削減ができなかった。	・市内の公共交通機関の利用について、市民の意識向上を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-1	施策	公害の未然防止を図るための啓発活動を実施します。（公害未然防止啓発事業）			
事業	公害の未然防止を図るため、地域環境への影響に十分配慮しながら活動・事業を行うよう啓発する。					
現状と課題	大気汚染、水質汚染、騒音振動や悪臭等の公害は問題が生じてからでは対策が難しくなるため、公害発生を未然防止に向けた啓発活動を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	苦情処理件数70件 (75件)	苦情処理件数70件 (46件)	苦情処理件数60件 (60件)	苦情処理件数60件 (69件)	苦情処理件数60件 (64件)
	行動計画	・市民や事業者への啓発活動	・啓発する手法の検討 ・市民や事業者への啓発活動	・啓発する手法の検討 ・市民や事業者への啓発活動	・啓発する手法の検討 ・市民や事業者への啓発活動	・啓発する手法の検討 ・市民や事業者への啓発活動 ・パトロールの実施
	年度実績	・広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。	・広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。	・広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。	・広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。 ・パトロールを実施し、現場で指導を行い、公害苦情を未然に防いだ。	・広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。 ・パトロールを実施し、現場で指導を行い、公害苦情を未然に防いだ。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・啓発活動を行ったが苦情件数は増加した。	・啓発活動を行い、苦情件数が減少し、公害の未然防止を図った。	・啓発活動を行ったが、前年度より苦情件数は増加した。	・啓発活動やパトロールを実施したが、前年度より苦情件数は増加した。	・前年度より苦情件数が減少し、公害の未然防止を図れた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-2	施策	公害苦情の対応を関係機関との連携により迅速に対応します。			
事業	事業者等へ地域環境への影響に十分配慮しながら事業を行うよう啓発し迅速な公害苦情対応を行う。					
現状と課題	公害関係については、茨城県等関係機関と連携を図っているため、引き続き連携しつつ迅速に対応する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県等関係機関との連携</li> <li>迅速な対応</li> </ul>				
	年度実績	茨城県と連携して事業所などに指導、助言を行った。	茨城県と連携して事業所などに指導、助言を行った。	茨城県と連携して事業所などに指導、助言を行った。	茨城県と連携して事業所などに指導、助言を行った。	事業所などに指導、助言する案件は無かった。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた				
	効果	関係機関と連携し迅速な事案対応を行うことができた。	関係機関と連携し迅速な事案対応を行うことができた。	関係機関と連携し迅速な事案対応を行うことができた。	関係機関と連携し迅速な事案対応を行うことができた。	引き続き関係機関と連携し迅速な事案対応を行う。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-3	施策	不法投棄や野焼きパトロールを実施します。			
事業	不法投棄や野焼きのパトロールを定期的実施します。					
現状と課題	不法投棄や野焼きは、年間数回発生している状況である。 定期的なパトロールを行うことで、不法投棄や野焼きの抑止を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止パトロールの実施</li> <li>野焼きに対する指導</li> </ul>				
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>週3回の不法投棄防止パトロール実施した。</li> <li>野焼きの通報により行為者に指導を行った。</li> </ul>				
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた				
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的パトロールを実施し、事案発生を抑止した。</li> </ul>				

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-4	施策	自動車の排気ガスを減らすために、公用車に次世代エコカーの導入を検討します。			
事業	次世代エコカーの導入を検討する。					
現状と課題	市で使用する車両にはハイブリット車の導入が進んでおり、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。予算の確保が課題となるが、地球温暖化対策を推進するためには、市が住民や事業者に対し模範的な取組を示すためにも導入を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保	・導入のための検討、 予算の確保
	年度実績	・導入のため検討を行 ったが、予算の確保 には至らなかった。	・導入のため検討を行 ったが、予算の確保 には至らなかった。	・導入のため検討を行 ったが、予算の確保 には至らなかった。	・公用車管理の財政課 へ、国補助制度の案内 を行った。	・公用車管理の財政課 へ、国補助制度の案内 を行った。
	自己評価	4 計画には及ばな かった	4 計画には及ばな かった	4 計画には及ばな かった	3 概ね計画どおり達 成できた	3 概ね計画どおり達 成できた
	効果	・次世代エコカーの導 入に至らなかった。	・次世代エコカーの導 入に至らなかった。	・次世代エコカーの導 入に至らなかった。	・次世代エコカーの導 入に至らなかったが、 低燃費車2台を導入し た。	・次世代エコカーの導 入に至らなかったが、 ハイブリッド車1台、低燃費 車6台を導入した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-5	施策	運転についても、アイドリングストップなどの環境に配慮した運転の普及・啓発を図ります。			
事業	市民や事業者に対してアイドリングストップや燃費の良い運転方法について普及啓発を図る。					
現状と課題	低燃費運転の方法を市民や事業者に情報提供し、環境に配慮した運転の普及啓発を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・低燃費運転の情報提供による環境に配慮した運転の普及啓発を図る。	・低燃費運転の情報提供による環境に配慮した運転の普及啓発を図る。	・取組の公表・情報提供	・取組の公表・情報提供	・取組の公表・情報提供
	年度実績	・低燃費運転に関する情報収集を行った。	・低燃費運転に関する情報収集を行った。	・低燃費運転に関する情報提供をホームページで公表した。	・低燃費運転に関する情報提供をホームページで公表した。	・低燃費運転に関する情報をホームページで公表した。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・情報収集は行ったが、低燃費運転の情報提供による普及啓発はできなかった。	・情報収集は行ったが、低燃費運転の情報提供による普及啓発はできなかった。	・低燃費運転の情報提供による普及啓発を市民に図ることができた。	・低燃費運転の情報提供による普及啓発を市民に図ることができた。	・低燃費運転に関する普及啓発を行い、意識向上を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-6	施策	自動車運行による排気ガスの低減のため、ノーカーデーを設け、公共交通機関の利用促進や自動車通勤における相乗りの励行を図ります。			
事業	自動車運行による排気ガスの低減のため、ノーマイカーデーを設け公共交通機関や相乗り、自転車での通勤を励行する。					
現状と課題	現在ノーマイカーデーの取組を行っていないため、定期的にノーマイカーデーを実施するよう計画を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・実施に向けた調査研究	・実施計画の策定 ・協力企業との調整	・実施計画の策定 ・協力企業との調整	・ノーマイカーデー実施	・ノーマイカーデー実施の検討
	年度実績	・ノーマイカーデーの実施に向けた調査を実施した	・ノーマイカーデーの実施に向けた計画の策定及び協力企業との調整を行った。	・ノーマイカーデーの実施に向けた計画の策定及び協力企業との調整を行った。	・新型コロナウイルス感染防止のため、ノーマイカーデーの実施を見合わせた。	・市内の公共交通機関の利用に限界はあるが、できる限り利用するよう、窓口で公共交通機関利用促進のパンフレットを配布した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・平成30年度から実施するための調査研究を行った。	・計画の策定及び協力企業との調整ができなかった。	・計画の策定を行ったが、協力企業との調整ができなかった。	・二酸化炭素排出量の削減ができなかった。	・市内の公共交通機関の利用について、市民の意識向上を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-7	施策	庭木の剪定枝や落ち葉は燃やさずに、堆肥化による有効利用を図るよう呼びかけます。			
事業	庭木の剪定枝や落ち葉は、燃やさずに堆肥化による有効利用の取り組みを推進します。					
現状と課題	他の自治体や事業者等の取り組みを参考に調査、研究を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・枝や落ち葉の堆肥化について調査研究	・枝や落ち葉の堆肥化について調査研究	・枝や落ち葉の堆肥化について調査研究	・枝や落ち葉の堆肥化について調査研究	・堆肥の有効利用に向けた施策の検討
	年度実績	・間伐材の有効利用に関する調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用に関する調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用に関する調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用による堆肥づくりを推進するため、段ボールコンポストなどの調査研究を実施した。	・間伐材の有効利用に関するパンフレットを窓口で配布した。また、公園から出る間伐材の有効利用について、高砂熱学と協議した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・施策の検討に向けた調査研究を引き続き実施する。	・施策の検討に向けた調査研究を引き続き実施する。	・施策の検討に向けた調査研究を引き続き実施する。	・来年度の施策の検討について、調査研究を行うことができた。	・間伐材利用促進に関する啓発を行い、市民への意識向上を図ることができた。高砂熱学と間伐材についての利用方法の協議により間伐材についての知識を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-8	施策	公共用水域の水質測定を継続し、結果を公表します。（水質調査事業）			
事業	河川等の水を採取し水質検査を実施し、結果を公表する。					
現状と課題	水質検査は毎年度実施しているが、検査結果の公表は行っていない。 今後、市民の関心を高めるため、広報紙やホームページで結果を公表する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	水質環境基準達成率 100% (95%)	水質環境基準達成率 100% (80%)	水質環境基準達成率 100% (90%)	水質環境基準達成率 100% (70%)	水質環境基準達成率 100% (80%)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質調査の実施</li> <li>結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質調査の実施</li> <li>結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質調査の実施</li> <li>結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質調査の実施</li> <li>結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質調査の実施</li> <li>結果の公表</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内21カ所の水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4カ所で合計10回水質検査を実施し、結果をホームページで公表した。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点に類似する環境基準と比較し、1カ所で基準を超える数値が検出された。</li> <li>検査結果の公表により、市民の関心を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点に類似する環境基準と比較し、2回で基準を超える数値が検出された。</li> <li>検査結果の公表により、市民の関心を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点に類似する環境基準と比較し、1回基準を超える数値が検出された。</li> <li>検査結果の公表により、市民の関心を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点に類似する環境基準と比較し、3回基準を超える数値が検出された。</li> <li>検査結果の公表により、市民の関心を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地点に類似する環境基準と比較し、2回基準を超える数値が検出された。</li> <li>検査結果の公表により、市民の関心を高めた。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-9	施策	自動車騒音の発生個所で騒音測定による監視を続けます。			
事業	市内の主要道路で自動車の騒音測定を行う。					
現状と課題	騒音測定を計画的に実施するため自動車騒音常時監視調査実施計画を策定している。 この計画は5年計画で、騒音規制法の規定に基づき測定が必要な市内主要幹線道路から測定地点を選定し、調査を実施するよう計画されている。 引き続きこの計画のとおり調査を実施するとともに、自動車騒音の苦情が発生した場合は、随時調査を実施する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・騒音調査の実施	・騒音調査の実施	・騒音調査の実施	・騒音調査の実施	・騒音調査の実施
	年度実績	・市内3地点において自動車騒音調査を実施した。	・市内3地点において自動車騒音調査を実施した。	・市内3地点において自動車騒音調査を実施した。	・市内3地点において自動車騒音調査を実施した。	・市内4地点において自動車騒音調査を実施し、測定結果をホームページで公表した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた				
	効果	・測定結果に騒音規制法の基準値を超えた個所はなかった。 ・測定結果をホームページで公表し市民へ公開した。	・測定結果に騒音規制法の基準値を超えた個所はなかった。 ・測定結果をホームページで公表し市民へ公開した。	・測定結果に騒音規制法の基準値を超えた個所はなかった。 ・測定結果をホームページで公表し市民へ公開した。	・測定結果に騒音規制法の基準値を超えた個所はなかった。 ・測定結果をホームページで公表し市民へ公開した。	・測定結果に騒音規制法の基準値を超えた個所はなかった。 ・測定結果をホームページで公表したことにより、市民への関心を高めた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-10	施策	環境への負荷を低減するため、農薬使用量の低減や有機肥料使用促進などの環境保全型農業を推進します。			
事業	化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。					
現状と課題	現状は市内で2団体が環境保全型農業を実施している。支援の対象となる要件が厳しいため新規で補助を受けられる団体が少ない。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・広報紙による広告の掲載による環境保全型農業の推進	・広報紙による広告の掲載による環境保全型農業の推進	・広報紙による広告の掲載による環境保全型農業の推進	・広報紙による広告の掲載による環境保全型農業の推進	・広報紙による広告の掲載による環境保全型農業の推進
	年度実績	・広報紙に広告を掲載し、事業主体を募集した。特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。	・特裁等に取り組む農業者の把握や実施団体の活動支援を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・既に実施している2団体の活動支援を行った。 ・要件が厳しいため該当となる可能性のある農業者又は団体を把握し支援した。	・制度改正に伴い、活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。	・制度改正に伴い、活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。	・制度改正に伴い、活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。	・活動内容における指導・助言を行い、適正な活動を促すことができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-11	施策	事業者に対し化学物質の適切な使用と管理を指導します。			
事業	茨城県や関係機関と連携し、化学物質を使用する事業者に必要なに応じて指導を行う。					
現状と課題	茨城県や関係機関と連携し、化学物質を使用する事業者に、適正な使用と管理を促しているため、引き続き連携を図りながら有害物質の安全管理を徹底させ必要な場合には指導を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・必要に応じた指導	・必要に応じた指導	・必要に応じた指導	・必要に応じた指導	・必要に応じた指導
	年度実績	・指導案件はなかった。	・指導案件はなかった。	・指導案件はなかった。	・茨城県の公害立入り調査に同行し、1施設確認した。	・茨城県と連携し、1施設の調査を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・指導案件はなかった。	・指導案件はなかった。	・指導案件はなかった。	・指導案件はなかった。 ・調査対象施設では、適正な維持管理が確認出来た。	・指導案件はなかった。 ・調査対象施設では、適正な維持管理が確認出来た。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-12	施策	違法な野焼き行為を規制し、ダイオキシン類の発生防止に努めます。			
事業	禁止されている野外焼却（野焼き）について、法令遵守の徹底を図るよう周知を行い、行為者を特定した場合は適切な指導を行うことで、ダイオキシン類の発生の抑制に努める。					
現状と課題	野焼きによる煙害の苦情が毎年多く寄せられている。野焼きは原則禁止されていることから、法令遵守の徹底を図っていくほか、例外的に認められたものについても、煙害防止の観点から近隣住民へ配慮するよう啓発、指導を図っていく。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	指導件数30件 (14件)	指導件数30件 (17件)	指導件数30件 (26件)	指導件数30件 (18件)	指導件数30件 (26件)
	行動計画	・野焼きに対する指導 ・広報紙やホームページ等で野焼き禁止の周知・指導	・野焼きに対する指導 ・広報紙やホームページ等で野焼き禁止の周知・指導	・野焼きに対する指導 ・広報紙やホームページ等で野焼き禁止の周知・指導	・野焼きに対する指導 ・広報紙やホームページ等で野焼き禁止の周知・指導	・野焼きに対する指導 ・広報紙やホームページ等で野焼き禁止の周知・指導
	年度実績	・広報紙6月号、9月号、11月号で周知、啓発を行った。 ・野焼きの通報により行為者に指導した。	・広報紙9月号、12月号で周知、啓発を行った。 ・野焼きの通報により行為者に指導した。	・広報紙9月号で周知、啓発を行った。 ・野焼きの通報により行為者に指導した。	・広報紙9月号で周知、啓発を行った。 ・野焼きの通報により行為者に指導した。	・広報紙で周知、啓発を行った。 ・野焼きの通報により行為者に指導した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
効果	・広報紙により野焼き禁止の周知を行うとともに、野焼き行為者に対する指導を行い、抑制を図った。	・広報紙により野焼き禁止の周知を行うとともに、野焼き行為者に対する指導を行い、抑制を図った。昨年度より指導件数は増加した。	・広報紙により野焼き禁止の周知を行うとともに、野焼き行為者に対する指導を行い、抑制を図った。昨年度より指導件数は増加した。	・広報紙により野焼き禁止の周知を行うとともに、野焼き行為者に対する指導を行い、抑制を図った。昨年度より指導件数は減少した。	・広報紙による周知や行為者へ直接指導を行い、抑制を図れた。 ・昨年度より指導件数は増加したが、一定の効果があった。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-13	施策	大気中のダイオキシン類の測定を継続し、結果を公表します。			
事業	常総環境センターと連携し、ダイオキシン類の測定結果を市民へ公表する。					
現状と課題	常総環境センターの焼却施設から発生する排ガスなどについて、年4回の定期測定を実施している。 本市ではダイオキシン類の測定は行っていないため、常総環境センターが実施している測定結果が環境基準を超えていないか、注意深く推移を見守るとともに、測定結果の公表を検討する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定結果の情報収集</li> <li>ホームページでの公表</li> </ul>				
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>常総環境センターにおいて測定結果を公表した。</li> <li>排ガス分析結果は法基準値以下である。</li> </ul>				
	自己評価	1 計画以上に達成できた				
	効果	既に公表しており、法基準値以下、及び自主基準値もクリアしている状況である。	既に公表しており、法基準値以下、及び自主基準値もクリアしている状況である。	既に公表しており、法基準値以下、及び自主基準値もクリアしている状況である。	既に公表しており、法基準値以下、及び自主基準値もクリアしている状況である。	既に公表しており、法基準値以下、及び自主基準値もクリアしているため、市民の安全を確保することができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-14	施策	空間放射線量の測定を継続し、結果を公表します。			
事業	定点測定による空間放射線量のモニタリングを年間2回実施する。					
現状と課題	市内全体の空間放射線量は、除染や自然減衰により徐々に下がり、除染実施計画の策定が必要な毎時0.23μSv以下となっている。定点測定の頻度や測定方法について見直す必要がある。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)
	行動計画	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング
	年度実績	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた				
	効果	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保することができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-1	施策	景観計画に基づき市全域を景観計画区域として、良好な景観形成を図る。			
事業	景観計画に基づき良好な景観形成を図る。					
現状と課題	景観計画区域に指定した地域で一定規模以上の建築などの行為を行う時は、事前協議や届出の審査を行うことで良好な景観形成を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する
	年度実績	・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。	・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。	・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。	・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。	・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた				
	効果	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することができた。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することができた。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することができた。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することができた。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-2	施策	絹の台地区及びみらい平地区を先導的な取組が期待できる地区として景観形成重点地区に指定し、良好な景観形成を図る。			
事業	景観形成重点地区において良好な景観形成を図る。					
現状と課題	景観形成重点区域に指定した地域で一定規模以上の建築などの行為を行う時は、事前協議や届出の審査を行うことで良好な景観形成を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する。	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する。	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する。	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する。	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する。
	年度実績	・景観形成重点区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施しや細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。	・景観形成重点区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施しや細かな指導、助言を行い景観の維持を図った。	・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持や緑化推進を図った。	・景観形成重点区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持や緑化推進を図った。	・景観形成重点区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行い景観の維持や緑化推進を図った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導し、緑化が図られた。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導し、緑化が図られた。	・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導し、緑化が図られた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-3	施策	景観形成上、重要な構造物や樹木について「景観重要建造物・樹木」に指定し、保全、管理を図る。			
事業	「景観重要建造物・樹木」を指定する制度を周知する。					
現状と課題	景観重要建造物・樹木に指定する重要な構造物や樹木について、広く情報を集めるため制度周知を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>建造物・樹木の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>建造物・樹木の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>建造物・樹木の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定制度に係る導入の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観に関する周知</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>他市の景観事例の聞き取り訪問を行い、保全、管理の取り組みなどの調査研究を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他市の景観事例の聞き取り訪問を行い、保全、管理の取り組みなどの調査研究を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造園事業者の聞き取りを行い、樹木の保全、管理の取り組みなどの調査を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係内で景観物件について、検討を行ったが指定するまでには至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや広報紙を活用し、景観に関する情報発信を行った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進自治体の制度について知識を深め、保全、管理に向けた情報収集ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進自治体の制度について知識を深め、保全、管理に向けた情報収集ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観制度について知識を深め、保全、管理に向けた情報収集ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定にあたり、個人の財産等に制限がかかることとなり、指定は難しいと考えた。今後は、景観の保全と向上を目標に、景観の周知を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観に関する周知を行うことで、まちなみ意識の醸成を図りながら、制度理解を進めていく。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-4	施策	屋外広告物の表示・掲出に関する行為について一定の制限により景観の保持を図る。			
事業	屋外広告物の行為を制限することにより景観やまちなみを保持する。					
現状と課題	つくばみらい市景観条例や茨城県の屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示・掲出に関する行為について、一定の制限により景観やまちなみの保持を図るとともに、違法に設置された屋外広告物の指導や撤去を行なう。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	屋外広告物撤去3回/年 (4回/年)	屋外広告物撤去4回/年 (4回/年)	屋外広告物撤去4回/年 (5回/年)	屋外広告物撤去4回/年 (4回/年)	屋外広告物撤去4回/年 (4回/年)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観事前協議及び許可</li> <li>・屋外広告物申請の審査</li> <li>・違法屋外広告物の撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観事前協議及び許可</li> <li>・屋外広告物申請の審査</li> <li>・違法屋外広告物の撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観事前協議及び許可</li> <li>・屋外広告物申請の審査</li> <li>・違法屋外広告物の撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観事前協議及び許可</li> <li>・屋外広告物申請の審査</li> <li>・違法屋外広告物の撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観事前協議及び許可</li> <li>・屋外広告物申請の審査</li> <li>・違法屋外広告物の撤去</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行った。屋外広告物撤去を4回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行った。屋外広告物撤去を4回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行った。国体実施のため屋外広告物撤去を5回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行った。屋外広告物撤去を4回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画区域内での申請事業者との事前調整・協議を随時実施し細かな指導、助言を行った。屋外広告物撤去を4回実施した。</li> </ul>
	自己評価	1 計画以上に達成できた	2 計画どおり達成できた	1 計画以上に達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。違反広告物の簡易撤去を行い、良好な街の景観を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。違反広告物の簡易撤去を行い、良好な街の景観を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。違反広告物の簡易撤去を行い、良好な街の景観を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。違反広告物の簡易撤去を行い、良好な街の景観を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調整や協議により良好な景観形成に誘導することが出来た。違反広告物の簡易撤去を行い、良好な街の景観を維持する。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図ります。					
施策番号	3-2-5	施策	地区のシンボルとなっている道路や地域の人が維持管理を担っている道路については、「景観重要公共施設」に指定し、整備を図ります。			
事業	景観重要公共施設の指定に向けた調査を行う。					
現状と課題	近隣自治体の取組などを参考に景観重要公共施設の指定に向け調査する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・景観重要公共施設の指定に向けた調査	・景観重要公共施設の指定に向けた調査	・景観重要公共施設の指定に向けた調査	・指定制度に係る導入の検討	・景観に関する周知
	年度実績	・他市の景観事例の聞き取り訪問を行い、取り組みなどを調査研究を行った。	・他市の景観事例の聞き取り訪問を行い、取り組みなどを調査研究を行った。	・これまでの調査研究をもとに、課題の整理、検討を行った。	・係内で景観物件について、検討を行ったが指定するまでには至らなかった。	・ホームページや広報紙を活用し、景観に関する情報発信を行った。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・先進自治体の制度や方法について知識を深めることができた。	・先進自治体の制度や方法について知識を深めることができた。	・景観制度や法令について知識を深めることができた。	・単体の物件指定では、景観の創出効果が限られ、街づくりと一体的な景観的效果が望めない。より景観的機運を高めるため、今後は景観の保全を目標に周知を行っていく。	・景観に関する周知を行うことで、まちなみ意識の醸成を図りながら、制度理解を進めていく。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-6	施策	景観づくりに関する意識の醸成を図るため、景観街づくりに関する情報について市のホームページ等を活用して情報の発信を行う。			
事業	市民に向けて景観まちづくりに関する情報を発信する。					
現状と課題	ホームページを活用して、景観ガイドライン等の情報発信を行う。 つくばみらい市景観計画概要版を事業者などに配布し、景観の啓発を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・景観ガイドライン等の情報発信や提供	・景観ガイドライン等の情報発信や提供	・景観ガイドライン等の情報発信や提供	・景観ガイドライン等の情報発信や提供 ・景観協定による街づくりのサポート	・景観ガイドライン等の情報発信や提供 ・景観協定による街づくりのサポート
	年度実績	・ホームページを活用し、景観に関する情報発信を行った。	・ホームページを活用し、景観に関する情報発信を行った。	・ホームページや広報紙を活用し、景観に関する情報発信を行った。	・ホームページや広報紙を活用し、景観に関する情報発信を行った。	・ホームページや広報紙を活用し、景観に関する情報発信を行った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・市内外広く当市の景観事業に関する啓蒙啓発を実施した。	・市内外広く当市の景観事業に関する啓蒙啓発を実施した。	・市内外広く当市の景観事業に関する啓蒙啓発を実施した。	・市内外広く当市の景観事業に関する啓蒙啓発を実施した。	・広く景観事業の啓発を行ったことにより、景観づくりについての関心を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-7	施策	景観づくりについての関心を高めるため、各種の啓発等を実施する。			
事業	景観づくりに関する啓発等の実施					
現状と課題	窓口において景観や街なみに関する資料提供、ポスター掲示を実施する。 つくばみらい市景観計画概要版を事業者などに配布し、景観の啓発を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・各種情報提供、ポスター掲示	・各種情報提供、ポスター掲示	・各種情報提供、ポスター掲示	・各種情報提供、ポスター掲示	・各種情報提供、ポスター掲示
	年度実績	・窓口において景観に関する情報提供や資料配布・ポスター掲示など情報発信を行った。	・窓口において景観に関する情報提供や資料配布・ポスター掲示など情報発信を行った。	・窓口において景観に関する情報提供や資料配布・ポスター掲示など情報発信を行った。	・窓口において景観に関する情報提供や資料配布・ポスター掲示など情報発信を行った。	・窓口において景観に関する情報提供や資料配布・ポスター掲示など情報発信を行った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた				
	効果	・広く景観事業の啓発を行った。	・広く景観事業の啓発を行った。	・広く景観事業の啓発を行った。	・広く景観事業の啓発を行った。	・広く景観事業の啓発を行ったことにより、景観づくりについての関心を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生涯学習課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺空間、都市景観の保全と向上を図ります。					
施策番号	3-2-8	施策	文化財・文化遺産の保全と活用を図ります。			
事業	文化財や文化遺産の保存・保護などを行い、広く市民に紹介する。 埋蔵文化財の確認や各種調査を的確に行う。					
現状と課題	現在も文化財の保管や公開、展示を行っている。 今後、文化財の保存方法や展示方法を研究し、既存記念館施設の適切な維持管理を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の試掘及び発掘調査等の実施</li> <li>施設の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の試掘及び発掘調査等の実施</li> <li>施設の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の試掘及び発掘調査等の実施</li> <li>施設の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の試掘及び発掘調査等の実施</li> <li>施設の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の試掘及び発掘調査等の実施</li> <li>施設の維持管理</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>照会等があった案件について、埋蔵文化財の所在確認や試掘調査等を行った。また、不動院や綱火保存団体などへの補助金交付を行い、有形・無形文化財の保全保存に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>照会等があった案件について、埋蔵文化財の所在確認や試掘調査等を行った。また、綱火保存団体などへの補助金交付を行い、有形・無形文化財の保全保存に努めた。</li> </ul>			
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区域内に存在する埋蔵文化財の保存・保護及び有形・無形文化財等を保全するとともに、次世代への伝承を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区域内に存在する埋蔵文化財の保存・保護及び有形・無形文化財等を保全するとともに、次世代への伝承を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区域内に存在する埋蔵文化財の保存・保護及び有形・無形文化財等を保全するとともに、次世代への伝承を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区域内に存在する埋蔵文化財の保存・保護及び有形・無形文化財等を保全するとともに、次世代への伝承を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区域内に存在する埋蔵文化財の保存・保護及び有形・無形文化財等を保全するとともに、次世代への伝承を図る。</li> </ul>

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	開発指導課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	安全なまちの形成			
分類	防犯面や防災面、日常生活が安全である環境を推進します。					
施策番号	3-3-1	施策	旧耐震基準の住宅について、無料で木造住宅耐震診断士を派遣します。（耐震診断士派遣事業）			
事業	旧耐震基準の住宅について、無料で木造住宅耐震診断士を派遣する。					
現状と課題	旧耐震基準により建築された木造戸建て住宅を対象とし、木造住宅耐震診断士を派遣する。市耐震改修促進計画では、住宅の耐震化率を95%とすることを目標としているが、旧耐震基準の住宅の建替え・改修が進まず、達成が厳しい状況である。引き続き木造住宅耐震診断士派遣事業を実施し、耐震性不足と診断された建築物について、耐震補強の実施につなげることができるよう、併せて耐震補強補助制度の周知を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	耐震診断件数7件 (3件)	耐震診断件数7件 (5件)	耐震診断件数7件 (3件)	耐震診断件数7件 (7件)	耐震診断件数7件 (1件)
	行動計画	・木造住宅耐震診断士派遣事業実施	・木造住宅耐震診断士派遣事業実施	・木造住宅耐震診断士派遣事業実施	・木造住宅耐震診断士派遣事業実施（周知期間延長）	・木造住宅耐震診断士派遣事業実施
	年度実績	・耐震診断士派遣事業を実施した。	・耐震診断士派遣事業を実施した。	・耐震診断士派遣事業について受付期間を延長し実施した。	・耐震診断士派遣事業について受付期間を延長し実施した。	・耐震診断士派遣事業について、ホームページや広報紙にて周知した。 ・応募のあった1件の住宅に対しては、耐震診断士派遣を行った。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	2 計画どおり達成できなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・応募のあった3件の住宅に対して、耐震診断士派遣を行った。	・応募のあった5件の住宅に対して、耐震診断士派遣を行った。	・応募のあった3件の住宅に対して、耐震診断士派遣を行った。	・応募のあった7件の住宅に対して、耐震診断士派遣を行い、その結果、耐震性不足と判断された建築物に対しては、翌年度の耐震補強制度の案内を行い、旧耐震基準の木造住宅解消を図ることができた。	・応募のあった1件の住宅に対しては、耐震診断士派遣を行い、その結果、耐震性不足と判断されたため、翌年度の耐震補強制度の案内を行い、旧耐震基準の木造住宅解消を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	安全なまちの形成			
分類	防犯面や防災面、日常生活が安全である環境を推進します。					
施策番号	3-3-2	施策	LED防犯灯の設置を推進します。			
事業	平成29年度から3年計画で、蛍光灯仕様の防犯灯をLED化仕様に切り替えを図る。					
現状と課題	蛍光灯仕様の防犯灯は3年計画で更新し、その切り替え後水銀灯仕様の防犯灯の更新を行う。 令和2年度から検討を始める水銀灯仕様のLED化については、蛍光灯仕様の防犯灯に比べ容量が大きく、仕様が異なるので、予算確保が課題となる。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	防犯灯LED化率35% (38%)	防犯灯LED化率60% (64%)	防犯灯LED化率80% (86%)	防犯灯LED化率81% (90%)	防犯灯LED化率82% (93%)
	行動計画	・防犯灯改修工事 ・蛍光灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・蛍光灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・蛍光灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・水銀灯仕様防犯灯のLED化	・防犯灯改修工事 ・水銀灯仕様防犯灯のLED化
	年度実績	・1,240基の防犯灯を改修工事によりLED化した。	・1,233基の防犯灯を改修工事によりLED化した。	・1,049基の防犯灯を改修工事によりLED化した。	・250基の水銀灯仕様防犯灯をLED化した。	・122基の水銀灯仕様防犯灯をLED化した。
	自己評価	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた
	効果	・蛍光灯仕様の防犯灯をLED化することで、防犯効果の向上を図ることができた。	・蛍光灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・蛍光灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・水銀灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。	・水銀灯仕様の防犯灯をLED化することで、CO2排出量削減を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	安全なまちの形成			
分類	放射能対策を継続します。					
施策番号	3-3-3	施策	引き続き放射線量の測定を行い、結果を公表します。			
事業	定点測定による空間放射線量のモニタリングを年間2回実施する。					
現状と課題	市内全体の空間放射線量は、除染や自然減衰により徐々に下がり、除染実施計画の策定が必要な毎時0.23μSv以下となっている。定点測定の頻度や測定方法について見直す必要がある。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)	空間放射線量基準内の維持100% (100%)
	行動計画	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング	・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング
	年度実績	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。	・空間放射線量のモニタリングを実施し測定結果を公表した。
	自己評価	2 計画どおり達成できた				
	効果	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保した。	・空間放射線量が、基準値以下であることを確認し測定値を公表することで、市民の安心を確保することができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-1	施策	環境保全活動を推進していくための組織づくりを行います。			
事業	環境保全活動を充実させるための組織づくり、活動の活性化を推進する。					
現状と課題	本市で活動を把握し、環境保全に取り組んでいる市民や団体は少数である。 今後、環境保全活動に意欲のある市民や団体を把握し組織づくりを進める必要がある。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・環境保全活動を行う個人や団体調査	・環境保全活動を行う個人や団体調査	・環境保全活動を行う個人や団体調査	・組織づくりに向けた調整	・組織づくりに向けた調整
	年度実績	・環境保全活動を実施している団体等の調査を行った。	・環境保全活動を実施している団体等の調査を行った。	・環境保全活動を実施している団体等の調査を行った。	・組織づくりに向けた調整を行うことが出来なかった。	・組織づくりに向けた調整を行った。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・新たな団体等の把握には至らなかった。	・新たな団体等の把握には至らなかった。	・新たな団体等の把握には至らなかった。	・今後、公共施設里親登録団体との連携を検討する。	・環境保全活動に興味を持った市民に対し、組織づくりに向けた情報提供を行い、関心を高めた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-2	施策	環境保全活動を実施している市民や学校、町内会等を市のホームページや広報で紹介し、活動を支援します。			
事業	環境保全活動を実施している団体を調査し、活動内容を確認したうえで、ホームページなどで紹介し活動の支援を行う。					
現状と課題	本市で活動を把握し、環境保全に取り組んでいる市民や団体は少数である。活動内容を把握しホームページや広報紙等により紹介する。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・環境保全活動を行う団体の調査	・環境保全活動を行う団体の調査	・環境保全活動を行う団体の調査	・活動の紹介	・活動の紹介
	年度実績	・環境保全活動を実施している団体等の調査を行った。	・環境保全活動を実施している団体等の調査を行った。	・環境保全活動を実施している団体等の調査を行った。	・公共施設里親登録団体の活動をホームページで紹介。	・公共施設里親登録団体の活動をホームページで紹介。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・新たな団体等の把握には至らなかった。	・新たな団体等の把握には至らなかった。	・新たな団体等の把握には至らなかった。	・市民の環境保全への意識向上を図ることができた。	・市民の環境保全への意識向上を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-3	施策	環境保全に関する情報を収集し、市ホームページや広報で紹介します。			
事業	環境保全に関する情報を収集し、ホームページや広報紙で紹介する。					
現状と課題	近隣や先進自治体の取り組みを参考に環境保全に関する情報を収集する。 また、ホームページにより取組内容を紹介することで、市民の環境保全への意識向上を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・近隣、先進自治体の 情報収集	・取り組みの紹介	・取り組みの紹介	・取り組みの紹介	・取り組みの紹介
	年度実績	・公表のための情報収 集を行った。	・取り組み内容をホー ムページや広報紙で公 表。	・取り組み内容をホー ムページや広報紙で公 表。	・取り組み内容をホー ムページや広報紙で公 表。	・公共施設里親団体の 取り組み内容をホーム ページで紹介。
	自己評価	3 概ね計画どおり達 成できた	3 概ね計画どおり達 成できた	3 概ね計画どおり達 成できた	3 概ね計画どおり達 成できた	3 概ね計画どおり達 成できた
	効果	・近隣自治体などの取 り組み内容を参考に情 報を収集することがで きた。	・市民の環境保全への 意識向上を図ることが できた。	・市民の環境保全への 意識向上を図ることが できた。	・市民の環境保全への 意識向上を図ることが できた。	・市民の環境保全への 意識向上を図ることが できた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-4	施策	年2回の市内一斉清掃活動を支援・促進します。(一斉清掃活動支援事業)			
事業	年2回の市内一斉清掃活動を支援・促進します。					
現状と課題	市内一斉清掃を年に2回実施しているが、参加者数や、取組状況等を公表していないので、今後、これらの一斉清掃の状況を紹介し、参加者の増加を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	一斉清掃参加者数 9,900人 (10,169人)	一斉清掃参加者数 10,000人 (9,607人)	一斉清掃参加者数 10,000人 (7,883人)	一斉清掃参加者数 10,000人 (0人) 中止のため	一斉清掃参加者数 11,000人 (参加者数未集計)
	行動計画	・市内一斉清掃の実施	・市内一斉清掃の実施 ・参加者数、取組の紹介	・市内一斉清掃の実施 ・参加者数、取組の紹介	・市内一斉清掃の実施 ・参加者数、取組の紹介 ・広報紙やホームページによる周知	・市内一斉清掃の実施 ・参加者数、取組の紹介 ・広報紙やホームページによる周知
	年度実績	・市内一斉清掃を5月と11月の2回実施した。	・市内一斉清掃を5月と11月の2回実施した。前年度の参加者数・取組の周知を行った。	・市内一斉清掃を5月と11月の2回実施した。前年度の参加者数・取組の周知を行った。	・予定していた市内一斉清掃は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったが、使用予定のゴミ袋は各行政区に配布した。	・市内一斉清掃を5月と11月の2回実施した。新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者数の集計は行わなかった。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	5 計画にはまったく及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・一斉清掃を実施することにより市民の環境意識の向上が図れた。	・昨年度より参加者が減少したが、一斉清掃を実施することにより市民の環境意識の向上が図れた。	・実施日が悪天候のため昨年度より参加者が減少したが、一斉清掃を実施することにより市民の環境意識の向上が図れた。	・新型コロナウイルス感染拡大防止により市内一斉清掃は中止となったが、一部の市民で個別に清掃活動を行っている方が見受けられた。	・一斉清掃を実施することにより市民の環境意識の向上が図れた。参加人数は未集計だが、感染防止対策を行いながら多くの市民が活動していた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	建設課	
基本目標	参加と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加					
施策番号	参-1-5	施策	鬼怒川・小貝川サミット会議の協賛事業を実施いたします。(クリーン大作戦)			
事業	鬼怒川・小貝川を対象とした「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」の実施					
現状と課題	効果的な周知を行うことにより参加者の増加を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	参加者数310人 (290人)	参加者数320人 (243人)	参加者数330人 (305人)	参加者数340人 (0人) 中止のため	参加者数350人 (0人) 中止のため
	行動計画	・クリーン大作戦の周知	・クリーン大作戦の周知	・クリーン大作戦の周知	・クリーン大作戦の周知	・クリーン大作戦の周知
	年度実績	・ホームページに掲載し周知したほか、事前に把握している参加協力者に対しパンフレット等の情報提供を行った。	・ホームページに掲載し周知したほか、事前に把握している参加協力者に対しパンフレット等の情報提供を行った。	・ホームページに掲載し周知したほか、事前に把握している参加協力者に対しパンフレット等の情報提供を行った。	・ホームページに掲載し事業の周知を行った。	・河川の増水により中止を余儀なくされた。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった
	効果	・参加協力者に対し情報提供を行うことで、概ね計画通り実施することができた。	・参加予定者は280人だったが、当日の欠席者が多かった。しかし事業を通じて環境美化の意識を高めることができた。	・参加協力者に対し情報提供を行うことで、概ね計画通り実施することができた。	・緊急事態宣言発令につき、開催時期を延期したが、当日の天候がすぐれなかったため中止とした。	・クリーン大作戦は中止となったが、ホームページに掲載することにより、事業の周知・啓発を図れた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-6	施策	道路や公園などの環境美化活動を行う市民を支援します。(公共施設里親制度)			
事業	環境美化活動に関心のある市民を募集し、公共施設の里親として登録し活動を支援する。					
現状と課題	公共施設の里親として登録者への活動を支援している。 登録数の増加を目指し里親制度を普及させるため周知を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	公共施設里親登録数 8団体 (12団体)	公共施設里親登録数 8団体 (14団体)	公共施設里親登録数 10団体 (16団体)	公共施設里親登録数 10団体 (16団体)	公共施設里親登録数 12団体 (18団体)
	行動計画	・里親制度参加者への支援 ・制度の周知	・里親制度参加者への支援 ・制度の周知	・里親制度参加者への支援 ・制度の周知	・里親制度参加者への支援 ・制度の周知	・里親制度参加者への支援 ・制度の周知
	年度実績	・広報紙等で制度周知を行い、3団体が新規で登録した。 ・ごみ袋の支給や保険の加入など参加者への支援を行った。	・広報紙等で制度周知を行い、2団体が新規で登録した。 ・ごみ袋の支給や保険の加入など参加者への支援を行った。	・広報紙等で制度周知を行い、2団体が新規で登録した。 ・ごみ袋の支給や保険の加入など参加者への支援を行った。	・広報紙等で制度周知を行い、1団体が新規で登録したが、諸事情により1団体脱退した。 ・ごみ袋の支給や保険の加入など参加者への支援を行った。	・広報紙等で制度周知を行い、2団体が新規で登録した。 ・ごみ袋の支給や保険の加入など参加者への支援を行った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	2 計画どおり達成できた	1 計画以上に達成できた
	効果	・制度周知を行うことで登録者が増加し、市民の環境に関する関心を高めることができた。	・制度周知を行うことで登録者が増加し、市民の環境に関する関心を高めることができた。	・制度周知を行うことで登録者が増加し、市民の環境に関する関心を高めることができた。	・制度周知を行うことで登録者が増加し、市民の環境に関する関心を高めることができた。	・制度周知を行うことで登録者が増加し、市民の環境に関する関心を高めることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課・各公民館	
基本目標	参画と協働		目標	環境教育の推進		
分類						
施策番号	参-2-1	施策	伊奈公民館、谷和原公民館及び生涯学習課において、それぞれ環境に関する講座を実施します。（環境講座開催事業）			
事業	環境講座を開催し、市民の環境に対する意識を高める。					
現状と課題	単なる環境講座では市民の関心が集まりにくいいため、魅力ある講座の企画が課題である。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	環境講座数2講座 (1講座)	環境講座数2講座 (2講座)	環境講座数2講座 (3講座)	環境講座数2講座 (0講座)	環境講座数2講座 (2講座)
	行動計画	・事業の計画及び実施	・事業の計画及び実施	・事業の計画及び実施	・事業の計画及び実施	・事業の計画及び実施
	年度実績	・初夏の寄せ植え講座など環境に関する講座を企画し、季節の花や植物を使用した寄せ植え体験を行った。	・「夏のハーバリウムアレンジ講座」、「寄せ植え講座」の計2講座を実施した。	・「はじめての寄せ植え」「茶摘み体験」「庭木の剪定教室」の3講座を実施	・前期の講座は全て中止。後期に1講座計画したが、急遽休館のため中止となった。	・「はじめての寄せ植え」「庭木の剪定教室」の計2講座を実施した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	1 計画以上に達成できた	5 計画にはまったく及ばなかった	2 計画どおり達成できた
	効果	・上記講座を実施し、身近に緑を感じられるよう意識の高揚を図った。	・上記講座を実施し、身近に緑を感じられるよう意識の高揚を図った。	・上記講座を実施し、身近に緑を感じられるよう意識の高揚を図った。	・なし。	・上記講座を実施し、身近に緑を感じられるよう意識の高揚を図ることができた。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-2	施策	環境学習や体験学習の場や機会の充実に努めます。			
事業	小中学生に環境学習や体験学習の場や機会の充実に努める。					
現状と課題	現在も環境学習や体験学習は実施している。 今後参加者の興味を引く魅力ある講座の企画が必要である。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・講座の計画及び実施	・講座の計画及び実施	・講座の計画及び実施	・講座の計画及び実施	・講座の計画及び実施 (農業体験検討)
	年度実績	・わくわくチャレンジ講座において、里山体験、夏の雑木林観察会などを実施した。	・わくわくチャレンジ講座において、霞ヶ浦湖上体験スクール、TX環境講座などを実施した。	・わくわくチャレンジ講座において、霞ヶ浦湖上体験スクール、TX環境講座などを実施した。	・間伐材を使った木工工作体験や霞ヶ浦湖上体験スクールを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止。	・わくわくチャレンジ講座において、間伐材を使った木工工作体験講座、TX環境講座を実施した。
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・上記講座を実施することにより、自然環境教育の場を提供した。	・上記講座を実施することにより、自然環境やリサイクルなどの環境教育の場を提供した。	・上記講座を実施することにより、自然環境やリサイクルなどの環境教育の場を提供した。	・なし。	・上記講座を実施することにより、自然環境やリサイクルなどの環境教育の場を提供した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	教育指導課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-3	施策	環境に関する施設を見学し、環境問題について学びます。			
事業	ごみ処理施設や下水道処理施設の見学の他に、新たな環境施設等を調査し、更なる環境学習の向上を推進します。					
現状と課題	現在の環境学習の中で訪問している主な施設は、ごみ処理施設と下水道処理施設のみとなっている。今後においては、それ以外の環境に関する施設において、施設の見学などの環境学習が可能であるのか調査し、実施可能な施設の拡大を図っていく。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習の実施</li> <li>情報収集</li> <li>候補施設の選定・協議</li> <li>学校との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習の実施</li> <li>情報収集</li> <li>候補施設の選定・協議</li> <li>学校との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設での環境学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設での環境学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設での環境学習の実施</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習を実施した</li> <li>環境に関する新たな施設を、関係機関などから情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習を実施した</li> <li>環境に関する新たな施設を、関係機関などから情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する新たな施設を、関係機関などから情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する新たな施設を、関係機関などから情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する新たな施設を、関係機関などから情報収集を行った。</li> </ul>
	自己評価	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた	3 概ね計画どおり達成できた
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する施設見学を行い環境学習の機会を提供した。</li> <li>情報収集を行うことで、新たな環境学習の実施可能な施設の準備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する施設見学を行い環境学習の機会を提供した。</li> <li>情報収集を行うことで、新たな環境学習の実施可能な施設の準備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設では実施出来なかったが、環境に関する施設見学を行い環境学習の機会を提供した。</li> <li>情報収集を行うことで、新たな環境学習の実施可能な施設の準備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県自然博物館において、環境に関する施設見学を行い環境学習の機会を提供した。</li> <li>情報収集を行うことで、新たな環境学習の実施可能な施設の準備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する施設見学を行い環境学習の機会を提供した。</li> </ul>	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	教育指導課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-4	施策	市民・事業者の協働による地域の環境美化を進めて行く組織づくりをします。			
事業	地域と学校とが協力しあい、学校敷地や身近な道路・公園などの環境美化を進めて行く事業を推進します。					
現状と課題	現在は、地域の方々の協力のもと、資源物回収をPTAなどが主体となり、環境美化活動を行っている。今後は、資源物回収の他に地域の方々との協働による環境美化活動を進めていきます。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	参加回数1回/年 (2回/年)	参加回数1回/年 (2回/年)	参加回数1回/年 (2回/年)	参加回数2回/年 (2回/年)	参加回数2回/年 (2回/年)
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との協議</li> <li>市民、団体への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との協議</li> <li>市民、団体への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との協議</li> <li>市民、団体への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との協議</li> <li>市民、団体への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との競技</li> <li>市民、団体への協力</li> </ul>
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物回収を中心に、PTAが主体となり環境美化活動を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物回収を中心に、PTAが主体となり環境美化活動を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物回収を中心に、PTAが主体となり環境美化活動を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物回収を中心に、PTAが主体となり環境美化活動を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物回収を中心に、PTAが主体となり環境美化活動を実施した。</li> </ul>
	自己評価	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の協力者に対し情報提供を行うことで、概ね計画通り参加していただくことができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の協力者に対し情報提供を行うことで、概ね計画通り参加していただくことができました。また、昨年より参加者も増加した。</li> </ul>			

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-5	施策	「花と緑の環境美化コンクール」(大好きいばらき県民会議主催)に参加し、子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めていきます。(環境美化事業)			
事業	学校や地域の花壇で草花を育成し「花と緑の環境美化コンクール」(大好きいばらき県民会議主催)に参加することで、子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めます。					
現状と課題	学校の参加実績はあるが、市民団体等の参加がないため、広報紙やホームページで周知を行う。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	環境美化コンクール 参加団体8団体 (4団体)	環境美化コンクール 参加団体8団体 (4団体)	環境美化コンクール 参加団体10団体 (5団体)	環境美化コンクール 参加団体10団体 (6団体)	環境美化コンクール 参加団体12団体 (0団体)
	行動計画	・小中学校への参加依頼 ・広報紙等による周知	・小中学校への参加依頼 ・広報紙等による周知	・小中学校への参加依頼 ・広報紙等による周知	・小中学校への参加依頼 ・広報紙やホームページ等による周知	・広報紙やホームページ等による周知 ・助成制度の周知(県主催)
	年度実績	・子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めるため、市内の地域・団体・学校に募集を行い、市内審査の結果、応募があった市内4小中学校の中から2校を県に推薦した。	・子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めるため、市内の地域・団体・学校に募集を行い、市内審査の結果、応募があった市内の4小中学校の中から2校を県に推薦した。	・子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めるため、市内の地域・団体・学校に募集を行い、市内審査の結果、応募があった市内の5小中学校の中から2校を県に推薦した。	・子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めるため、市内の地域・団体・学校に募集を行い、市内審査の結果、応募があった市内の6小中学校の中から2校を県に推薦した。	・チャレンジいばらき県民運動主催の「花と緑の環境美化コンクール」は令和2年度をもって事業終了したため、「花いっぱい運動」の助成制度の周知を行った。
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
効果	・地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高めた。	・地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高めた。	・地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高めた。	・地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高めたが、目標値に及ばなかった。	・事業は終了したが、助成制度の周知を通じて花壇づくりへの関心を高めた。	

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-6	施策	他の市民や事業者を啓発することのできる人材を発掘、育成し、リーダーとして活躍できる機会を増やします。			
事業	環境学習、環境保全活動のリーダーとなる人材を増やすため、茨城県が開催する講座エコカレッジへの参加を推進する。					
現状と課題	茨城県が開催する講座「エコカレッジ」への参加を推進することで、環境学習・環境保全活動を進んで実践するリーダーの養成を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・エコカレッジの制度を周知し参加を促進する。	・エコカレッジの制度を周知し参加を促進する。	・エコカレッジの制度を周知し参加を促進する。	・エコカレッジの制度を周知し参加を促進する。	・エコカレッジの制度を周知し参加を促進する。
	年度実績	・茨城県で開講するエコ・カレッジの情報収集、平成30年度の周知準備	・茨城県で開講するエコ・カレッジの情報収集、平成31年度の周知準備	・茨城県で開講するエコ・カレッジの情報収集、令和2年度の周知準備	・茨城県で開講するエコ・カレッジの情報収集、令和3年度の周知準備	・茨城県で開講するエコ・カレッジの情報収集、令和3年度の周知準備
	自己評価	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	4 計画には及ばなかった	3 概ね計画どおり達成できた
	効果	・制度周知が開講前に実施できなかったため、平成30年度の準備に至ってしまった。	・制度周知が開講前に実施できなかったため、平成31年度の準備に至ってしまった。	・制度周知が開講前に実施できなかったため、令和2年度の準備に至ってしまった。	・制度周知が開講前に実施できなかったため、令和3年度の準備に至ってしまった。	・制度周知を開講前に実施し、市民への参加を促した。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	広域的連携の強化			
分類						
施策番号	参-3-1	施策	廃棄物処理については常総環境センターと連携し、各種事業を効率的、積極的に推進します。			
事業	廃棄物処理については常総環境センターと連携し、各種事業を効率的、積極的に推進します。					
現状と課題	現在、ゴミ処理施設は本市、取手市、守谷市、常総市で構成する一部事務組合により広域的に連携し運営している。今後も広域運営のメリットを生かし効率的な運営を推進する。 また、生ごみのたい肥化事業への取り組みを推進し参加世帯の増加を図る。					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	参加戸数1,250戸 (1,512戸)	参加戸数1,300戸 (1,529戸)	参加戸数1,350戸 (1,592戸)	参加戸数1,400戸 (1,637戸)	参加戸数1,450戸 (1,666戸)
	行動計画	・常総環境センターとの連携	・常総環境センターとの連携 ・生ごみ堆肥化事業の周知	・常総環境センターとの連携 ・生ごみ堆肥化事業の周知	・常総環境センターとの連携 ・生ごみ堆肥化事業の周知	・常総環境センターとの連携 ・生ごみ堆肥化事業の周知
	年度実績	・常総環境センターと連携し、生ごみの堆肥化事業を推進した。	・常総環境センターと連携し、生ごみの堆肥化事業を推進した。	・常総環境センターと連携し、生ごみの堆肥化事業を推進した。	・常総環境センターと連携し、生ごみの堆肥化事業を推進した。	・広報紙で堆肥化事業の周知、啓発を行い事業への参加を推進した。
	自己評価	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた	1 計画以上に達成できた
	効果	・事業への参加世帯が増加したことにより、リサイクルの認知度が増加した。	・事業への参加世帯が増加したことにより、リサイクルの認知度が増加した。	・事業への参加世帯が増加したことにより、リサイクルの認知度が増加した。	・事業への参加世帯が増加したことにより、リサイクルの認知度が増加した。	・昨年度から29世帯が増加し、加入世帯は1,666戸になった。

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課 生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	広域連携の強化			
分類	広域的連携の強化					
施策番号	参-3-2	施策	汚水処理については取手地方広域下水道組合及び常総衛生組合と連携し、各種事業を効率的積極的に推進します。			
事業	つくばみらい市内の取手地方広域下水道組合処理区の公共下水道整備については取手地方広域下水道組合と連携して事業を行う。 (上下水道課) 広域で構成されている組合である常総衛生組合と連携し業務の効率化を図る。(生活環境課)					
現状と課題	現在も取手地方広域下水道組合と連携して事業を行っているので引き続き連携を維持しつつ事業を行う。(上下水道課) 常総衛生組合とは現在も連携し各種事業を行っているので今後も継続し業務の効率化を図る。(生活環境課)					
年度別計画		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・各組合との連携強化	・各組合との連携強化	・各組合との連携強化	・各組合との連携強化	・各組合との連携強化
	年度実績	・下水道組合と整備箇所や認可変更エリアを協議した。 ・継続的に連携を図った。	・継続的に連携を図った。	・継続的に連携を図った。	・継続的に連携を図った。	・継続的に連携を図った。
	自己評価	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた	2 計画どおり達成できた
	効果	・平成29年度の下水道整備によって3.2haの区域が供用開始となった。 ・継続した連携により業務の効率化を図った。	・継続した連携により業務の効率化を図った。	・継続した連携により業務の効率化を図った。	・令和2年度下水道整備によって、8.2haの区域が供用開始となった。 ・継続した連携により業務の効率化を図った。	・汚水処理について取手地方広域下水道組合及び常総衛生組合と継続して連携し、業務の効率化を図った。